

7. 新居浜港の特性と課題

7. 新居浜港の特性と課題

(1) 現況整理のまとめ

- 2～6章の現況整理結果から、強み、弱み、社会情勢の変化を機会、脅威に分類・整理した。

強み

- ・四国全域へのアクセス性、物流拠点としての機能性の高さ
- ・住友グループ企業による周辺地域の多様な産業の発展
- ・神戸港との定期内航フェリー航路
- ・阪神港及び那覇港とのコンテナ航路
- ・次世代エネルギー等の取扱実績とノウハウの蓄積
- ・近代化産業遺産群の存在
- ・マリナーパーク新居浜をはじめとした海のレジャーを楽しめる環境
- ・瀬戸内海の豊かな自然

弱み

- ・公共の大深水岸壁の整備の遅れ
- ・取扱貨物量の低下
- ・港湾施設の老朽化
- ・岸壁の水深、延長及び航路の幅員、水深が不足し、外航船の入港が困難
- ・生産年齢人口の減少
- ・観光における周知度の低さや受入環境の不足
- ・交通集中による渋滞発生(市役所周辺等)
- ・臨海部における浸水リスクの高さ

機会(社会情勢の変化)

- ・船舶の大型化
- ・デジタルトランスフォーメーション(DX)・自動化の進展
- ・トラックドライバーや船員不足への対応
- ・モーダルシフトの推進
- ・カーボンニュートラル社会の実現
- ・社会情勢の変化に伴う産業構造の変化
- ・次世代エネルギーの貨物需要の増大
- ・シニア層の国内観光需要の増加
- ・インバウンド需要の増加
- ・循環型社会・循環経済の実現
- ・ブルーカーボンの取組の推進

脅威(社会情勢の変化)

- ・人口減少、少子高齢化のさらなる進展
- ・生産人口減少による人手不足の顕在化
- ・地球温暖化による海面上昇
- ・自然災害の頻発化・激甚化

(2) 企業等ヒアリング・アンケート調査結果

- 延べ60社にアンケートを実施(うち回答28社)し、10社にヒアリングを実施した。
- 強みとして臨海部の工場集積による安定した貨物の取扱や、立地の良さが挙げられている。
- 一方、弱みとして、貨物輸送に適した道路の不足や港湾施設の老朽化等が挙げられている。
- 港湾利用者からのニーズとして、次世代エネルギーへの転換、大型船に対応した港湾施設、人手不足への対応・支援が挙げられている。
- 課題としては、荷役機器不足・倉庫不足の解消、物流車両の輸送効率化に向けた道路ネットワークの強化、港湾労働者等の人材確保や労働環境の改善が挙げられている。

強み

- ・非鉄金属、化学、機械工業等の工場集積による安定した貨物の取扱
- ・高速道路から近く、四国全体で見ても立地条件の良さ
- ・住友グループを中心とした安定的で多角的な産業の発展
- ・工業地帯に隣接していることで大量一括輸送が可能
- ・四国の瀬戸内海側のほぼ中央に位置し、広域的な集荷が可能
- ・新居浜港-神戸港の定期航路
- ・アンモニアの国内最大のタンクがあり、長年の実績・蓄積したノウハウ・サプライチェーンを保持
- ・脱炭素やICT関連設備導入に対する奨励金制度等、企業の新規立地や設備投資が行われやすい環境
- ・瀬戸内海における津波発生リスクの低さ

ニーズ

- ・段階的な次世代エネルギーへの転換や対応(CNPの推進)
- ・大型船に対応した港湾施設・設備(クレーン等)の充実
- ・人手不足の対応・支援
- ・将来の貨物需要に対応した港湾施設や用地が必要
- ・原材料を含めた貨物の輸送拠点の形成
- ・港湾手続き等の簡略化
- ・湾岸防災道路等の整備
- ・航路開拓、整備(来島海峡は航行の難所であり西側航路を開拓)
- ・港湾荷役や船舶の入港状況等のリアルタイムでの情報共有
- ・地元住民を中心とした来訪者の多様なニーズへの対応
- ・脱炭素の実現に向けた取組の推進

弱み

- ・物流車両に適した道路が不足(幅員不足等)
- ・倉庫不足
- ・港湾施設の老朽化が進展
- ・外航船(大型船)の入港が困難
- ・干潮時における座礁の危険性(本港地区)
- ・来島海峡と備讃瀬戸に挟まれた地理的制約(通航制限/強制水先制度等)
- ・企業が集中していることによる被災時の脆弱性
- ・コンテナ貨物、一般貨物の取扱いの少なさ
- ・港から観光地への公共交通が不足

課題

- ・荷役機器不足・倉庫不足の解消
- ・物流車両の輸送効率化に向けた道路ネットワークの強化
- ・港湾労働者等の人材確保や労働環境の改善
- ・モーダルシフトの進展に対応した機能拡充や新規施設の整備
- ・港湾における人流と物流の動線の交錯の解消
- ・東予港・本港地区・東港地区の物流ネットワークの連携強化
- ・官民・民間同士の新規事業や物流に関する連携
- ・石炭の代替貨物の確保
- ・移出コンテナ貨物の少なさの改善

※赤字は意見が特に多かった内容 2

(3) 新居浜港の主な課題

- 現況整理やヒアリング・アンケート調査結果を踏まえ、港湾が果たす役割として大きく4つの視点「物流・産業」「環境・エネルギー」「観光・交流」「防災・維持管理」ごとに新居浜港における主な課題を整理した。

●物流・産業

- ・【課題①】船舶大型化や貨物需要増大に対応した港湾機能の不足
- ・【課題②】モーダルシフトの進展に対応した港湾機能の不足
- ・【課題③】港湾物流ネットワークの連携不足
- ・【課題④】産業構造の変化への対応
- ・【課題⑤】港湾物流倉庫や企業誘致のための産業用地の不足
- ・【課題⑥】デジタル技術の活用への対応
- ・【課題⑦】港湾労働者不足や労働環境の改善への対応

●環境・エネルギー

- ・【課題⑧】脱炭素社会の実現に向けた次世代エネルギーへの転換・拡大への対応
- ・【課題⑨】豊かな自然環境と産業との両立

●観光・交流

- ・【課題⑩】自然・産業・歴史の地域資源を活用した賑わいの創出
- ・【課題⑪】地元住民を中心とした来訪者の多様なニーズへの対応
- ・【課題⑫】国内外の観光需要に対応するための受入環境の整備

●防災・維持管理

- ・【課題⑬】切迫する大規模自然災害や気候変動への対応
- ・【課題⑭】港湾施設の老朽化・陳腐化への対応

(3) 新居浜港の主な課題

物流・産業 【課題①】船舶大型化や貨物需要増大に対応した港湾機能の不足

■背景

- 非鉄金属、化学、機械工業等の工場が多く集積し、四国有数の臨海工業都市として発展。
- 船舶の大型化が徐々に進んでいる中で、大型船に対応した大水深岸壁が不足している。また、荷役設備の機能不足の声も上がっている。
- 荷役施設の効率性や瀬戸内海における地理的制約による入港制限等がある。

■課題

- 新居浜市や周辺地域が発展していくうえで、港湾の貨物取扱能力の向上が求められている。
- 本港・内港地区では、住友化学菊本第6岸壁を除いて水深10m以上の岸壁が整備されておらず、大型外航船の入港が困難で喫水調整等に対応している。また、東港地区でも水深7.5mを超える岸壁が整備されておらず、大型船の円滑な入港に支障が生じている。
- 本港地区をはじめとした各地区で荷役機械の機能も不足している。



図 本港地区・内港地区の課題

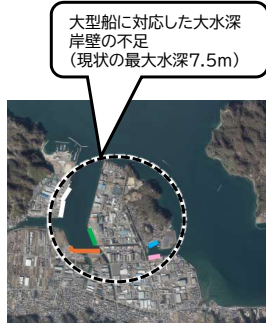


図 東港地区・黒島地区に関する課題

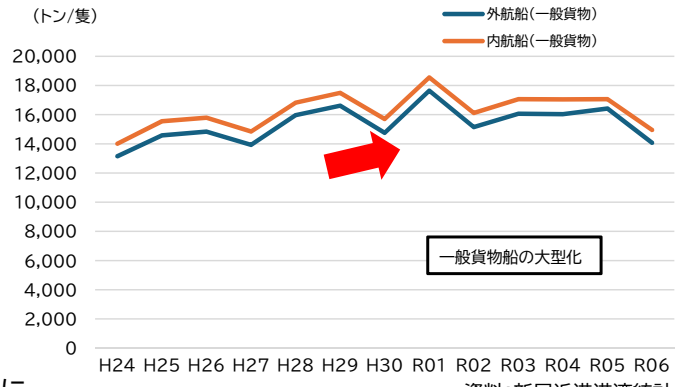


図 一般貨物船の隻数当たりトン数

(3) 新居浜港の主な課題

物流・産業 【課題②】モーダルシフトの進展に対応した港湾機能の不足

■背景

- 労働人口減少や高齢化に伴い、トラックドライバー不足が進展し、陸上輸送能力が低下。
- 陸上輸送から海上輸送へのモーダルシフトのニーズが高まる中で、フェリー貨物の取扱を行う垣生岸壁の背後用地が不足。

■課題

- 海上輸送の需要増加が見込まれる中で、内航貨物の取扱機能の拡充が必要。
- 新たにRORO船航路を誘致するための岸壁及び背後用地が整備されていない。
- 現在のフェリー岸壁(垣生第1岸壁)は延長が不足しており、将来の貨物需要の増加に伴う船舶大型化への対応が困難である。
- シャーシ・コンテナなどのフェリー貨物を仮置きするための背後用地が不足している。
- コンテナ船航路の船舶大型化に対応した岸壁が整備されていない。

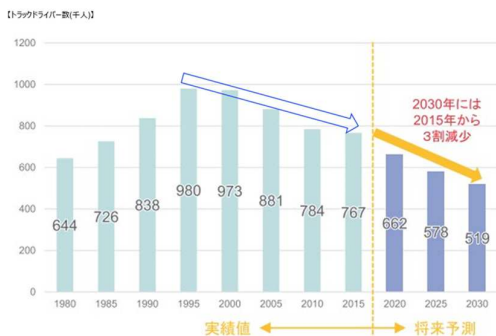


図 トラックドライバー人口の将来予測

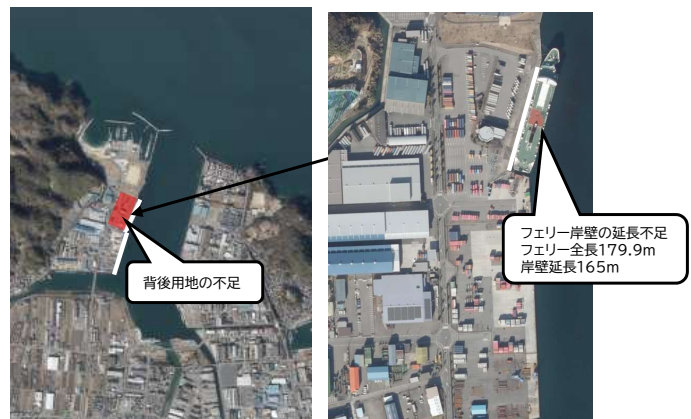


図 東港地区に関する課題

7. 新居浜港の特性と課題

(3) 新居浜港の主な課題

物流・産業 【課題③】港湾物流ネットワークの連携不足

■背景

- 四国の瀬戸内海側の中央部に位置し、高速道路に近接することから広域的な集貨が可能。
- 高速道路から新居浜港まで接続する道路は混雑箇所が存在する。
- 本港地区—東港地区間の道路は狭隘かつ、港湾物流ネットワークの連携が不足している。

■課題

- 製品の出荷や材料の搬入に利用する道路は混雑箇所の存在や、狭隘な箇所があり、物流輸送に多大な影響がある。

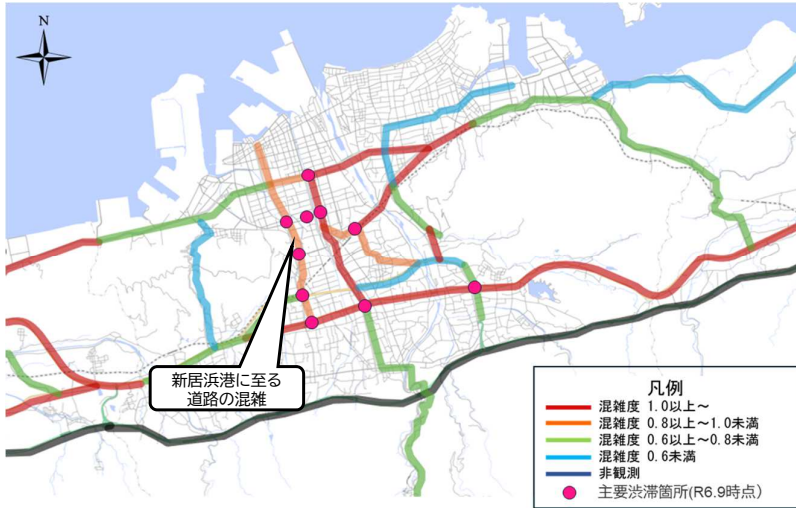


図 臨港地域と背後圏の課題



図 新居浜市内の道路 (新居浜市役所前)

7. 新居浜港の特性と課題

(3) 新居浜港の主な課題

物流・産業 【課題④】産業構造の変化への対応

■背景

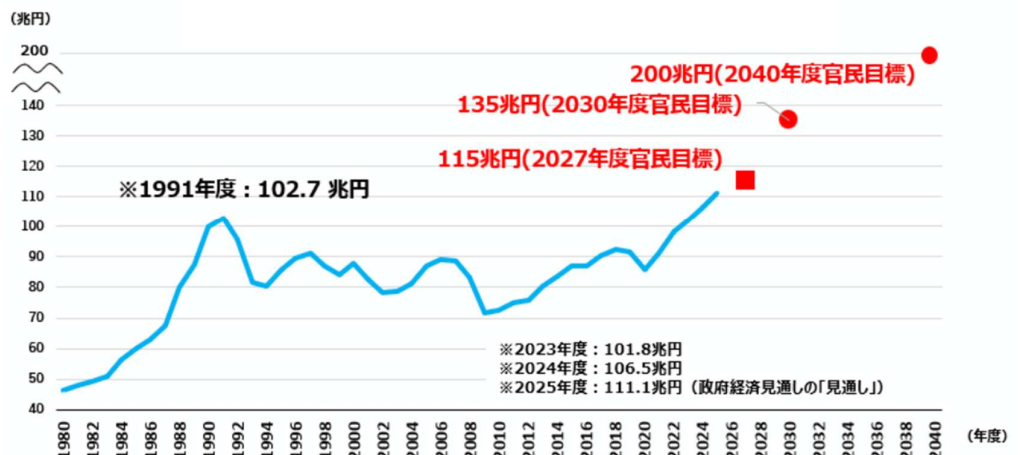
- 日本の成長戦略に関する重点的に投資されるべき産業が掲げられ、民間投資費用の増大が期待される。

■課題

- 重点的な投資によって産業構造が変化することで、取り扱われる貨物等が変化することが想定されるため、それらに対応した港湾機能の強化・集積を図ることが必要。

表 17分野の重点投資対象

AI・半導体	造船
量子	合成生物学・バイオ
航空・宇宙	デジタル・サイバーセキュリティ
コンテンツ(ゲームやアニメ産業等)	フードテック(食品開発など)
資源・エネルギー安全保障・GX	防災・国土強靱化
創薬・先端医療	フュージョンエネルギー(核融合)
マテリアル(重要鉱物・部素材)	港湾ロジスティクス(物流)
防衛産業	情報通信
海洋	-



出典: 地方での投資促進に向けた産業用地の確保について(経済産業省)
図 民間企業設備投資額の推移と官民目標

(3) 新居浜港の主な課題

物流・産業 【課題⑤】港湾物流倉庫や企業誘致のための産業用地の不足

■背景

- 第六次新居浜市長期総合計画をはじめとし、ものづくりにおける人材育成や企業誘致を推奨。
- 新居浜市内に事業用地の空きがなく、市街地における用地の確保が困難。
- 産業構造の変化によって様々な貨物需要が生じる中で倉庫不足が懸念されている。

■課題

- 産業立地の促進、地域産業の発展を図っていく上で、企業のニーズに対応できる用地や倉庫等のインフラ整備が進んでおらず、港湾物流や企業活動に支障をきたす恐れがある。

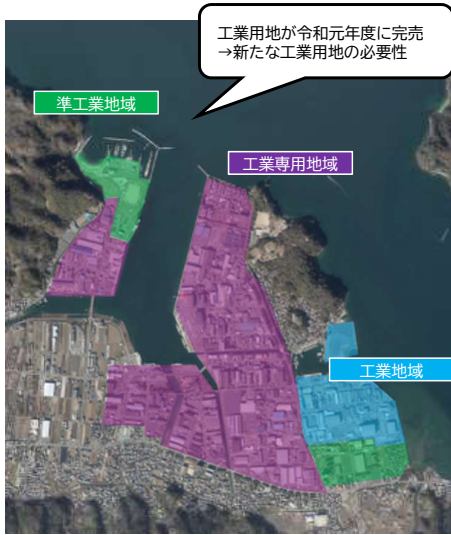


図 用途地域図

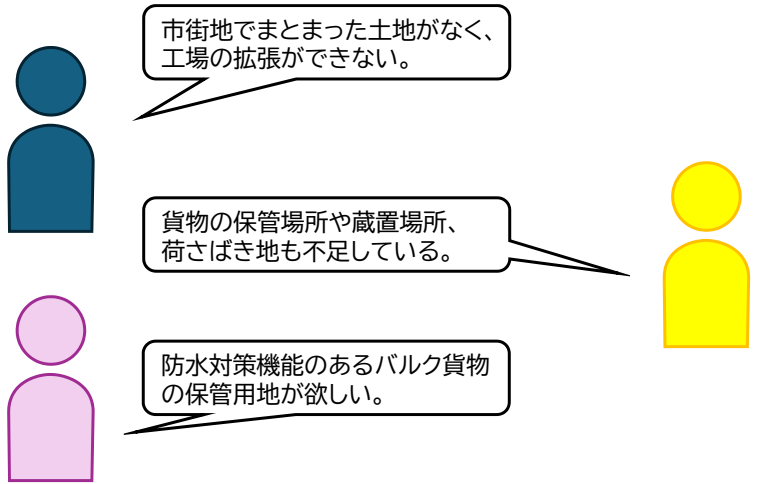


図 用地不足に関する主な意見(企業ヒアリングより)

(3) 新居浜港の主な課題

物流・産業 【課題⑥】デジタル技術の活用への対応

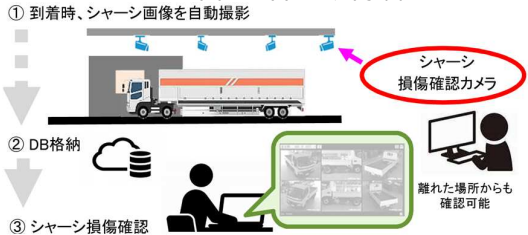
■背景

- 生産年齢人口の減少と港湾労働者の高齢化が進展し、将来的な担い手不足が懸念される。
- AI やIoTなどの革新的なデジタル技術の進展に伴い、港湾分野においても、物流の生産性向上はもとより、港湾を取り巻く様々な社会的課題の解決手段として、デジタル技術を活用する動きが加速化。

■課題

- 担い手不足が懸念される中で、省力化・高効率化の実現に向けたDXが推進されている一方で、デジタル技術を活用した取組みが進んでいない。

■カメラによるシャーシのゲート出入り管理・損傷確認



■シャーシ位置の管理システム



出典：次世代高規格ユニットロードターミナル検討会資料



出典：サイバーポート HP

図 デジタル技術を活用した港湾の生産性向上に向けた活用例

図 サイバーポートの概念図

(3) 新居浜港の主な課題

物流・産業 【課題⑦】港湾労働者不足や労働環境の改善への対応

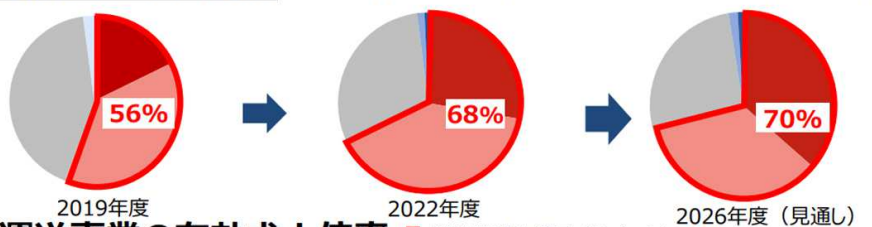
■背景

- 日本における労働人口は減少傾向。港湾労働者は、求人倍率は非常に高く、慢性的な人手不足の状況。
- トラックドライバーの労働時間が規制される中で、海上輸送へのモーダルシフトが進展することが見込まれる。

■課題

- 海上輸送の需要増加に対応するための港湾労働者の確保が必要。

港湾労働者の不足状況



港湾運送事業者の有効求人倍率



出典:国土交通省「港湾労働者不足対策等アクションプラン2025」

図 港湾労働者の不足状況・港湾運送事業者の有効求人倍率

(3) 新居浜港の主な課題

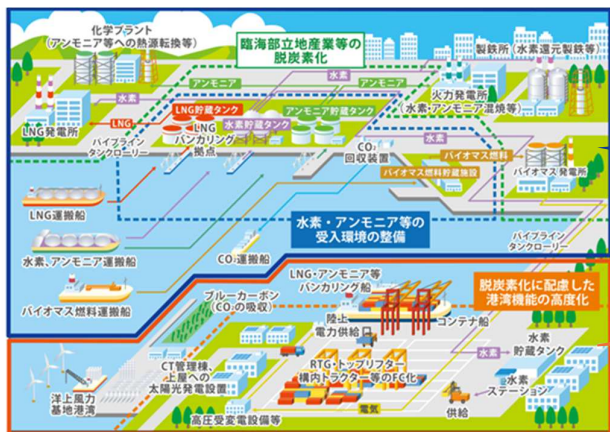
環境・エネルギー 【課題⑧】脱炭素社会の実現に向けた次世代エネルギーへの転換・拡大への対応

■背景

- 地球温暖化が進行する中、世界的に脱炭素に向けた取組みが推進。
- 工業港としての側面が強い新居浜港ではCO2排出量が多く、次世代エネルギーの受入環境の構築や積極的な脱炭素化が推奨される。
- 西日本で初めて港湾脱炭素化推進計画である「新居浜港・東予港(東港地区)港湾脱炭素化推進計画」を策定。
- 新居浜港では従来からアンモニア等の次世代エネルギーの取扱実績があり、ノウハウが蓄積されている。

■課題

- 将来的に、四国・西日本における次世代エネルギーや再生可能エネルギーの拠点化に向けた取組が必要。
- 次世代エネルギーは海外から大型船にて運搬することが想定されるが、新居浜港には大型船に対応した岸壁が整備されていない。また、貯蔵タンク等の施設を整備する用地が不足している。



産業の構造転換及び競争力強化への貢献

荷主や船社から選ばれる競争力のある港湾の形成

出典:国土交通省

左図 カーボンニュートラルレポートのイメージ

7. 新居浜港の特性と課題

(3) 新居浜港の主な課題

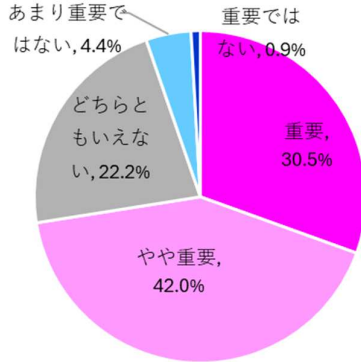
環境・エネルギー 【課題⑨】豊かな自然環境と産業との両立

■背景

- 瀬戸内海は生物多様性に富む豊かな海域であり、沢津・垣生地区では漁業が営まれている。
- 住民にとっても自然環境に対する重要度は高い。
- 一方で工業港として発展してきた新居浜港では、活発な産業活動が求められる。

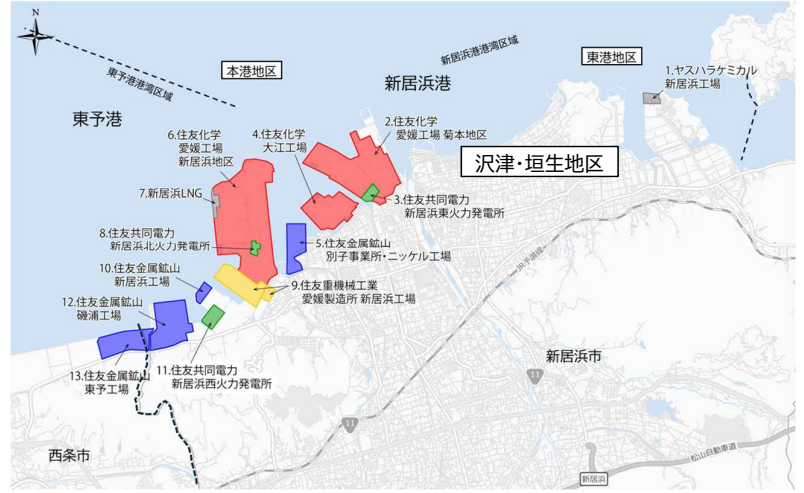
■課題

- 豊かな自然環境を保全しながら適切な港湾利用を図ることが必要。



資料：令和6年度新居浜市民アンケート調査

図 海、山、河川などの自然環境の豊かさに対する重要性



資料：各企業HPより作成、地図：地理院地図Vector(国土地理院)をもとに新居浜港務局作成

図 市内臨海部の立地企業

12

7. 新居浜港の特性と課題

(3) 新居浜港の主な課題

観光・交流 【課題⑩】自然・産業・歴史の地域資源を活用した賑わいの創出

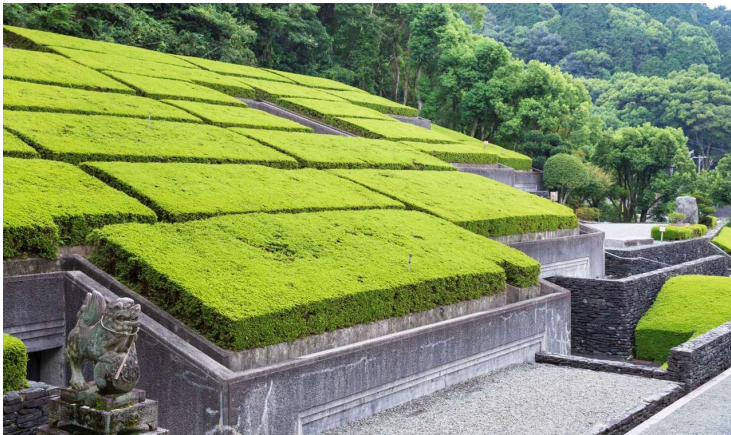
■背景

- 新居浜市では豊かな自然環境をはじめ、別子銅山等の産業・歴史遺産、みなとオアシスマリンパーク新居浜等、多種多様な観光資源が存在。
- 新居浜市では産業遺産群や地域資源を活かした観光振興を促進している。

■課題

- 新居浜市が有する既存の地域資源が十分に活用・認知されていないため、地域資源を有効活用し、港と背後地が連携し、新居浜市全体で賑わいの創出を図ることが必要。

■別子銅山記念館



出典：一般社団法人 新居浜市観光物産協会

■みなとオアシスマリンパーク新居浜



出典：新居浜港務局

図 新居浜市内の地域資源

13

(3) 新居浜港の主な課題

観光・交流 【課題⑪】地元住民を中心とした来訪者の多様なニーズへの対応

■背景

- 身近な憩いの場の充実について重要と考える住民の割合は多い。
- クルーズ船需要の増加に伴うインバウンド観光客や国内観光需要の増加に伴う国内のシニア層等、様々な属性の来訪者が今後想定される。
- 四国におけるクルーズ船の入港数は増加傾向にあるものの、新居浜港の岸壁は水深が浅く、入港頻度は少ない。
- 国内ではプレジャーボート等の海上レクリエーションの受入拡大に向けた取組みが進行。

■課題

- 様々な来訪者の増加が見込まれる中で、地元住民を中心に多様なニーズに応えていくことが必要。

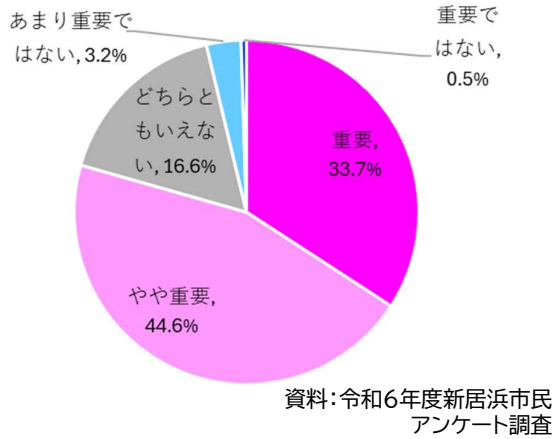
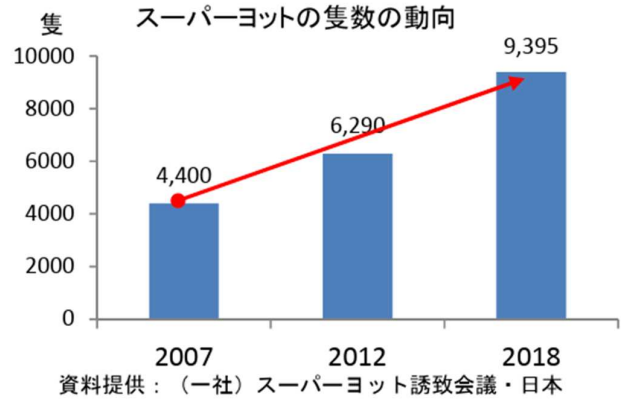


図 身近な憩いの場の充実に対する重要性



出典: 国土交通省「スーパーヨットの概要」

図 日本国内の大型プレジャーボートの隻数の動向

(3) 新居浜港の主な課題

観光・交流 【課題⑫】国内外の観光需要に対応するための受入環境の整備

■背景

- 新居浜市内の観光施設は広範囲に立地している一方で、移動手段が限られており、公共交通手段に対する住民の満足度は高くない。
- 国内外の観光客が訪れることが今後想定される中で、多言語への対応や情報発信が不足している。

■課題

- 国内外からの来訪者の集客を図り、多様なニーズに対応していく必要がある中で、多言語対応や移動環境等、円滑な観光を支えるための環境整備が不十分である。



図 新居浜市内の観光施設と課題

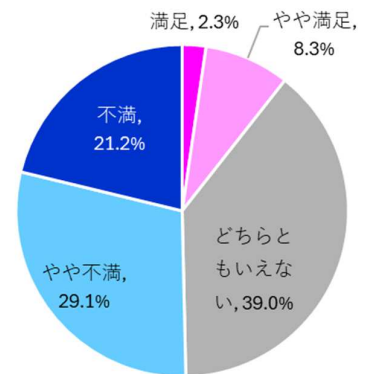


図 公共交通の利便性に関する満足度

(3) 新居浜港の主な課題

防災・維持管理 【課題⑬】切迫する大規模自然災害や気候変動への対応

■背景

- 将来発生が予想されている南海トラフ巨大地震において、一定程度の浸水被害が想定されている。
- 地球温暖化の影響で近年、海面が上昇しており、平常時においても護岸のかさ上げ等の浸水対策が推奨される。
- 新居浜港は地域の二次輸送拠点としての活用が期待されている。

■課題

- 地域住民や新居浜港に関わる人々が安心して活動できるような環境整備が必要。

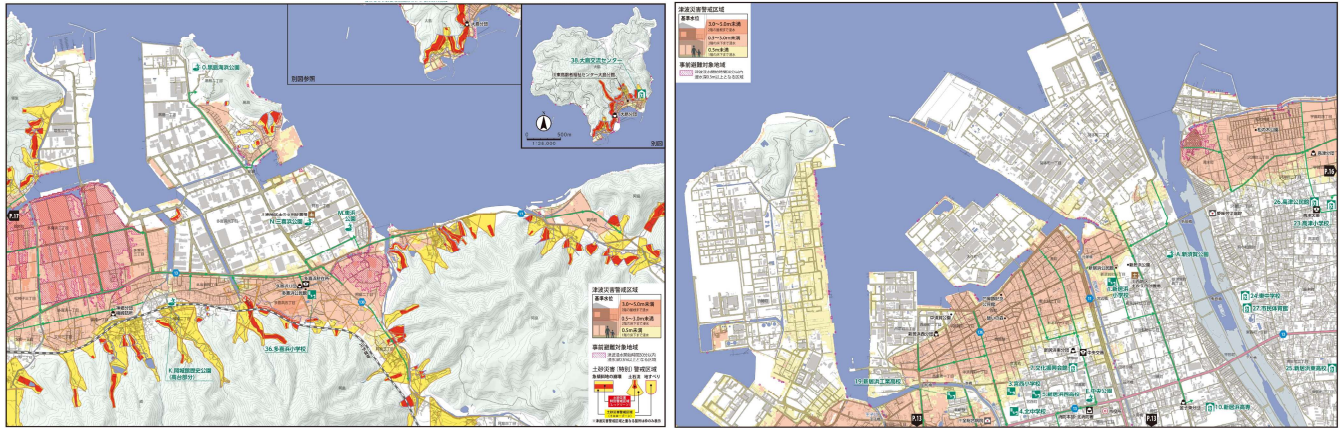


図 津波浸水想定図

出典：新居浜市総合防災マップ(令和5年12月)

(3) 新居浜港の主な課題

防災・維持管理 【課題⑭】港湾施設の老朽化・陳腐化への対応

■背景

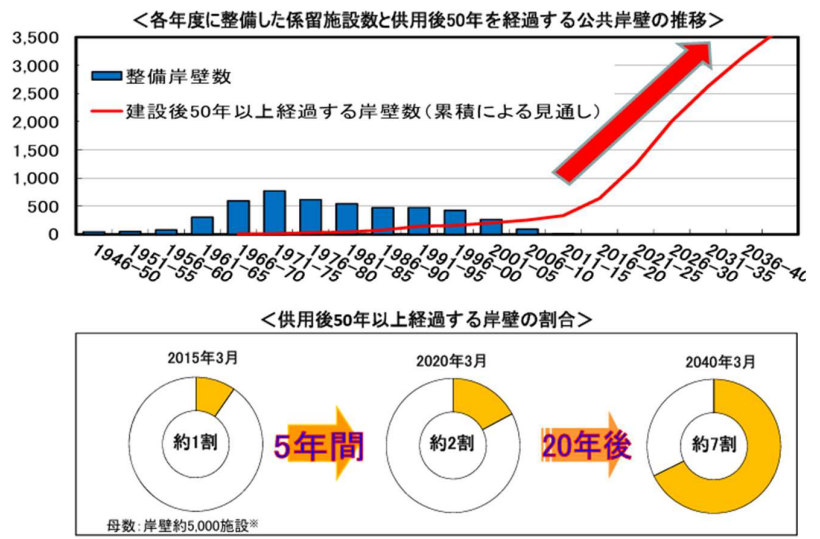
- 新居浜港全域で港湾施設の老朽化が進み、建設年数50年を超える港湾施設が今後さらに増加していく一方。

■課題

- 長期的な視点から、港湾施設の持続的な港湾運営・維持管理が必要。



図 内港地区における港湾施設の老朽化



出典：国土交通省港務局(港湾施設の維持管理 実務技術者講習会)

図 将来的な港湾施設の老朽化

8. 新居浜港長期構想(案)

18

8. 新居浜港長期構想(案)

(1) 基本理念

<基本理念>

新居浜港が発展してきたこれまでの歴史や現在の利用状況を背景に、将来的に想定される社会経済情勢の変化や、新居浜港の背後圏に果たすべき役割を踏まえ、新居浜港の長期的なビジョンとしての基本理念を以下のとおり定めた。

基本理念

あかがねの歴史をつなぎ、未来を見据え、時代に即して地域を支え、進化し続ける港

- 新居浜港は住友系の工業港として発展し、企業城下町として新居浜市とその周辺地域の産業や経済の発展に貢献してきた。
- 脱炭素化の実現や、DX等新たな技術の開発、労働力不足など、社会情勢が大きく変化していく中で、これらの変化に対応しながら、新居浜市や周辺地域の発展、地域住民のウェルビーイングに寄与できる港をめざす。
- 新居浜港の課題や要請を踏まえたうえで、新居浜港の強み・特性を活かし、社会経済及び災害の不確実性に柔軟に対応できる拠点港としての発展を目指す。

19

(2)新居浜港の目指すべき将来像

基本理念 あかがねの歴史をつなぎ、未来を見据え、時代に即して地域を支え、進化し続ける港

【課題①】船舶大型化や貨物需要増大に対応した
港湾機能の不足

【課題②】モーダルシフトの進展に対応した港湾機能の不足

【課題③】港湾物流ネットワークの連携不足

【課題④】産業構造の変化への対応

【課題⑤】港湾物流倉庫や企業誘致のための
産業用地の不足

【課題⑥】デジタル技術の活用への対応

【課題⑦】港湾労働者不足や労働環境の
改善への対応

【課題③】切迫する大規模自然災害や
気候変動への対応

【課題④】港湾施設の老朽化・陳腐化への
対応

国際競争力強化

労働力確保

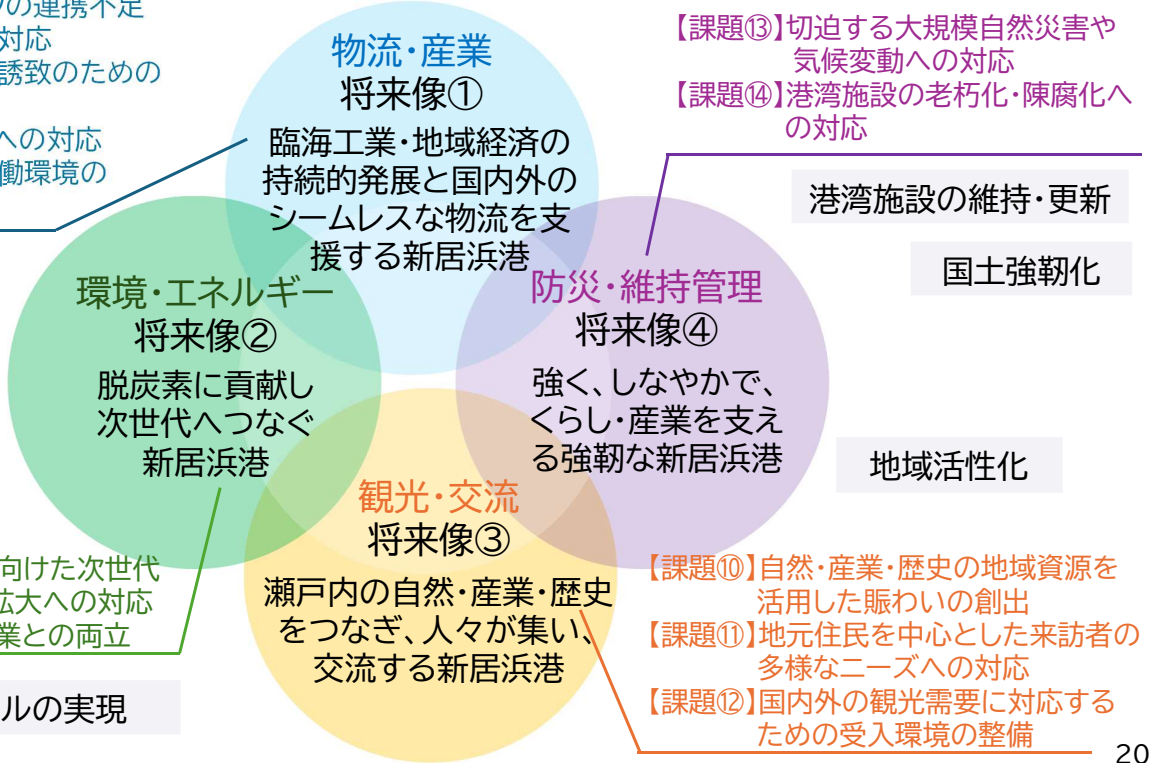
モーダルシフトの進展

技術革新・DXの
推進

【課題⑧】脱炭素社会の実現に向けた次世代
エネルギーへの転換拡大への対応

【課題⑨】豊かな自然環境と産業との両立

カーボンニュートラルの実現



(3)新居浜港の基本戦略

将来像	特性・情勢変化	戦略
将来像① 臨海工業・地域 経済の持続的 発展と国内外の シームレスな物 流を支援する新 居浜港	<ul style="list-style-type: none"> 臨海部の工業の発展(強み) 国際フィード航路(強み) 大型船に対応した港湾施設不足(弱み) 船舶の大型化(機会) 国際競争力の強化(機会) 	【戦略Ⅰ】【外貿(輸出入)ネットワーク】 臨海工業の生産性向上・国際競争力に 資する強靱なサプライチェーンの構築
	<ul style="list-style-type: none"> 内航ネットワークの充実(強み) 四国全域へのアクセス性(強み) 物流車両に対応した道路不足(弱み) モーダルシフトの進展(機会) トラックドライバー不足への対応(機会) 	【戦略Ⅱ】【国内輸送ネットワーク】 持続可能な国内物流体系の実現に向けた シームレスネットワークの構築
	<ul style="list-style-type: none"> 既存貨物の貨物量減少(弱み) 産業用地の不足(弱み) 産業構造の転換・多様化(機会) 次世代エネルギーやユニットロード貨物 等新たな貨物需要の増加(機会) 	【戦略Ⅲ】【産業集積】 地域産業の持続的発展に向けた成長産業 や物流拠点の集積
	<ul style="list-style-type: none"> 港湾労働者の減少(弱み) 生産年齢人口の減少(弱み) デジタル技術の進展・DXの推進(機会) 	【戦略Ⅳ】【DX・生産性向上】 情報通信技術を活用した港湾物流・産業の 生産性向上・高効率化
	<ul style="list-style-type: none"> 港湾労働者の減少(弱み) 生産年齢人口の減少(弱み) 持続的な港湾運営の困難化(脅威) 	【戦略Ⅴ】【人材・労働環境】 次世代への技術継承・育成及び魅力ある 労働環境の整備

(3)新居浜港の基本戦略

将来像	特性・情勢変化	戦略
将来像② 脱炭素に貢献し 次世代へつなぐ 新居浜港	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの受入拠点(強み) アンモニア・LNG等のエネルギー取扱実績・ノウハウの蓄積(強み) 次世代エネルギーの貨物需要の増大(機会) カーボンニュートラルの実現(機会) 臨海部産業におけるエネルギー転換の要請(機会) 	【戦略VI】【エネルギー】 次世代エネルギー等の受入供給拠点形成による脱炭素化の実現及び地域産業の活性化
	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内海の豊かな自然(強み) ブルーカーボンの推進(機会) 	【戦略VII】【環境】 港湾利用と共生する瀬戸内海沿岸域の環境の保全

(3)新居浜港の基本戦略

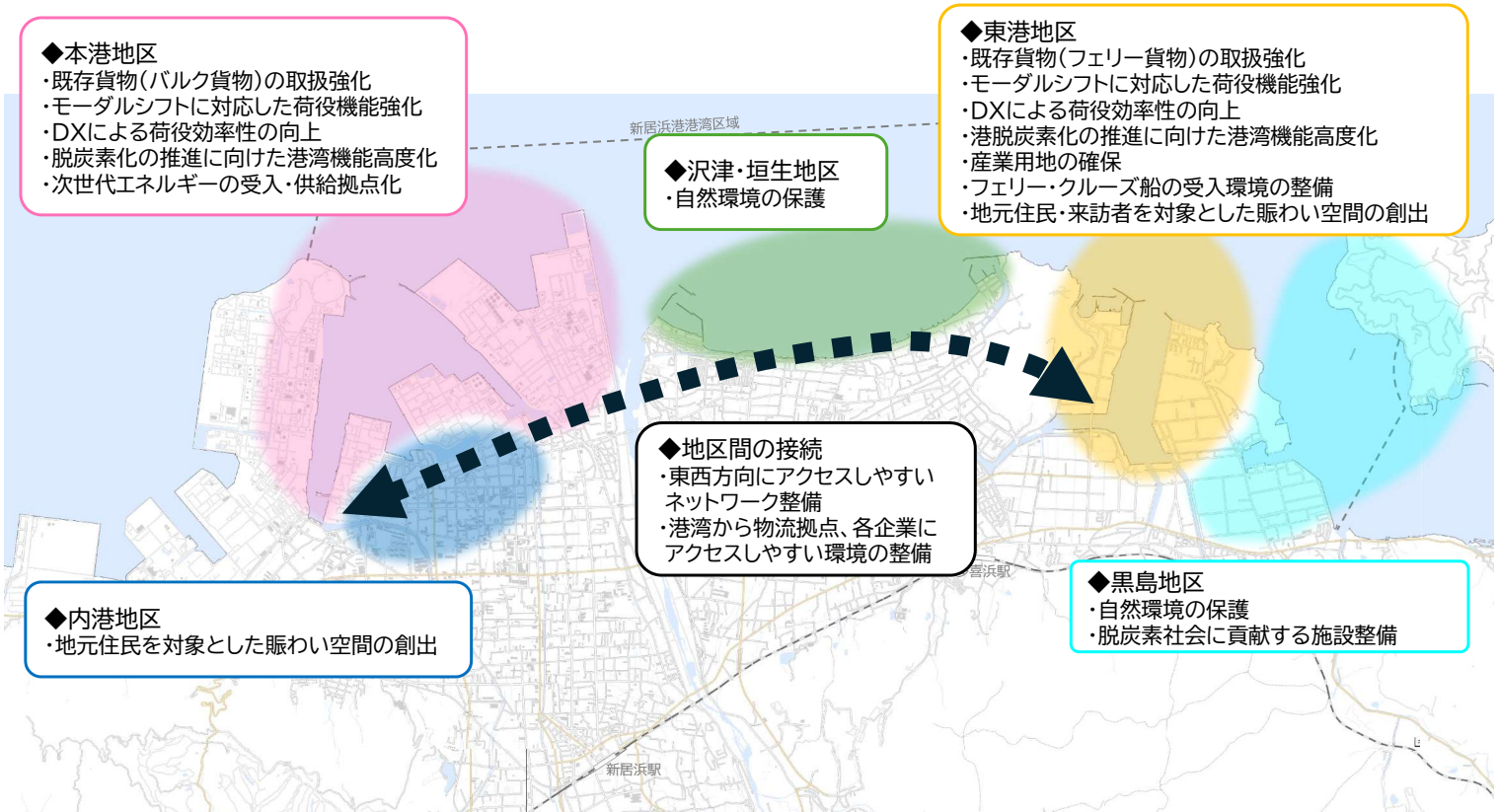
将来像	特性・情勢変化	戦略
将来像③ 瀬戸内の自然・ 産業・歴史をつ なぎ、人々が集 い、交流する新 居浜港	<ul style="list-style-type: none"> 近代化産業遺産群、新居浜太鼓祭り、みなとオアシスマリンパーク新居浜などの地域資源(強み) 訪日外国人旅行者の増加やクルーズ市場の拡大(機会) 高齢化によるアクティブシニア層の増大(機会) 	【戦略VIII】【レクリエーション・緑・景観】 あかがねの歴史・文化をつなぎ、賑わい・安らぎを生む瀬戸内ウォーターフロント空間の形成
	<ul style="list-style-type: none"> 観光・産品資源の認知度の低さや宿泊観光客の少なさ(弱み) 港へのアクセス交通の不足(弱み) 訪日外国人旅行者の増加やクルーズ市場の拡大(機会) 高齢化によるアクティブシニア層の増大(機会) 	【戦略IX】【サービス・情報発信】 国内外との交流ネットワークを形成し、新居浜の魅力を発信するゲートウェイの形成

(3) 新居浜港の基本戦略

将来像	特性・情勢変化	戦略
将来像④ 強く、しなやかで、暮らし・産業を支える強靱な新居浜港	<ul style="list-style-type: none"> 臨海部への企業の集積(強み) 瀬戸内海における津波による直接的な災害リスクの低さ(強み) 激甚化する自然災害の多頻度化(脅威) 地球温暖化による海面上昇(脅威) 	<p>【戦略Ⅹ】【国土強靱化】 災害時でも安全・安定的な機能を保持し、産業や生活を守る港湾の強靱化</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の老朽化(弱み) 臨海部における災害時の被災リスクの大きさ(弱み) 維持管理費の増加(脅威) 	<p>【戦略Ⅺ】【老朽化対策・維持管理】 港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進</p>

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

- 各戦略を検討するうえで、新居浜港内の5地区(本港地区、内港地区、東港地区、黒島地区、沢津・垣生地区)及び地区間の接続における整備方針を以下のように設定し、各整備方針に基づいた戦略・取組を検討した。














8. 新居浜港長期構想(案)

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

物流・産業

「将来像①臨海工業・地域経済の持続的発展と国内外のシームレスな物流を支援する新居浜港」に対する戦略・取組内容

戦略(案)		具体的な取組内容(案)
I	臨海工業の生産性向上・国際競争力に資する強靱なサプライチェーンの構築  	① バルク貨物取扱機能の強化 ② フェリー・コンテナターミナルの機能強化
II	持続可能な国内物流体系の実現に向けたシームレスネットワークの構築  	③ モーダルシフトに対応したRORO船の新規航路開設及びフェリー航路の拡充 ④ 地区間を結ぶ港湾物流道路の整備
III	地域産業の持続的発展に向けた成長産業や物流拠点の集積  	⑤ 新たな産業用地の確保・立地促進
IV	情報通信技術を活用した港湾物流・産業の生産性向上・高効率化   	⑥ DXの進展に伴う高効率荷役機器の導入やサイバーポート導入
V	次世代への技術継承・育成及び魅力ある労働環境の整備  	⑦ 市民が港湾事業に触れる機会の拡大 ⑧ 港湾労働者や船員が働きやすい環境整備

26

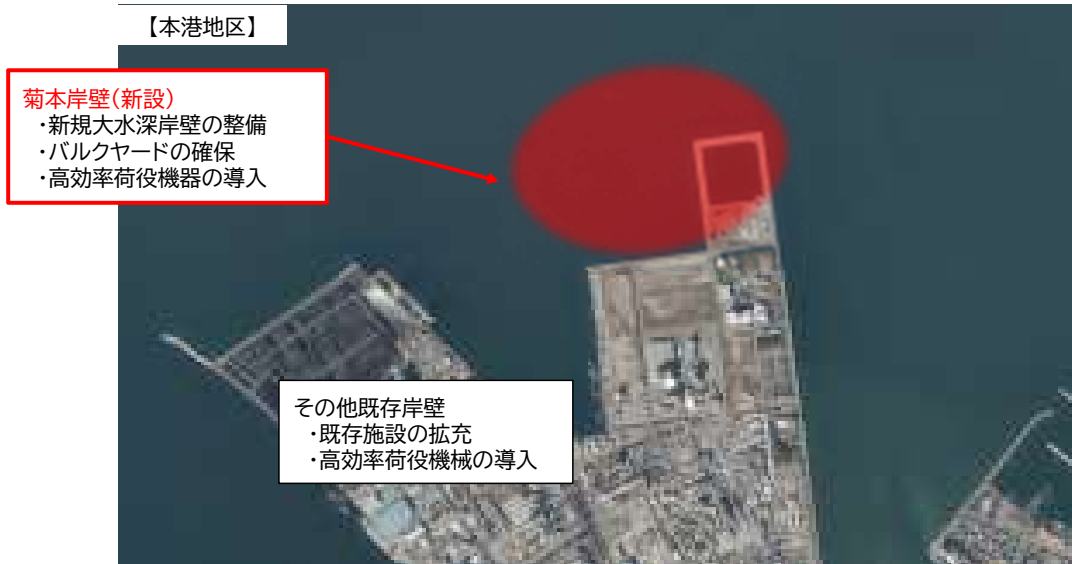
8. 新居浜港長期構想(案)

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

物流・産業

【戦略Ⅰ】【外貿(輸出入)ネットワーク】
臨海工業の生産性向上・国際競争力に資する強靱なサプライチェーンの構築

背景課題	四国有数の臨海工業都市として今後、発展していくためには、大型船を受け入れることのできる岸壁整備や荷役機械の機能強化等、貨物取扱能力の強化が不可欠である。(課題①)	
戦略概要	港湾政策の基本方針である「集貨」や「競争力強化」の取組を推進し、新居浜港が四国における強靱な物流網の拠点として活用されるような取組を行う。	
具体的な取組内容	①バルク貨物取扱機能の強化	新居浜港の主力貨物(原材料・エネルギー関連等)の需要増大に対応した既存施設の機能拡充、貨物船の大型化に対応するための新規大水深岸壁・ふ頭用地の整備、高効率荷役機器の導入等



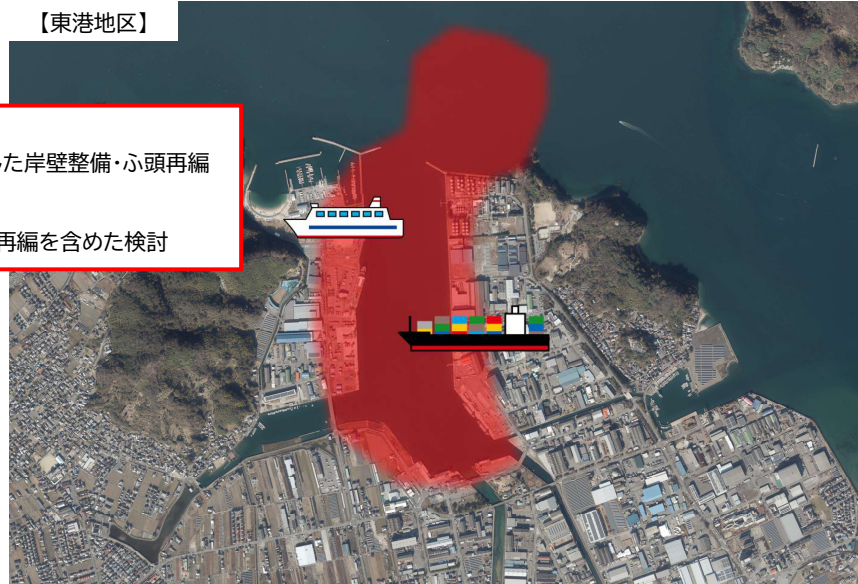
※優先度の高い取組は赤字で記載している。

27

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

物流・産業 **【戦略Ⅰ】【外貿(輸出入)ネットワーク】**
 臨海工業の生産性向上・国際競争力に資する強靱なサプライチェーンの構築

背景課題	四国有数の臨海工業都市として今後、発展していくためには、大型船を受け入れることのできる岸壁整備や荷役機械の機能強化等、貨物取扱能力の強化が不可欠である。(課題①)	
戦略概要	港湾政策の基本方針である「集貨」や「競争力強化」の取組を推進し、新居浜港が四国における強靱な物流網の拠点として活用されるような取組を行う。	
具体的な取組内容	②フェリー・コンテナターミナルの機能強化	新居浜港と神戸港を結ぶ定期フェリーや内航コンテナ船の大型化に対応するための岸壁整備や荷役設備の更新等

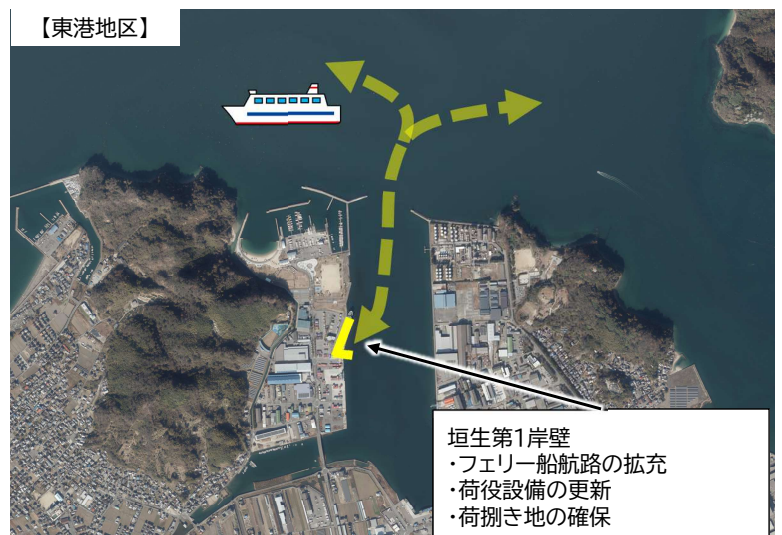
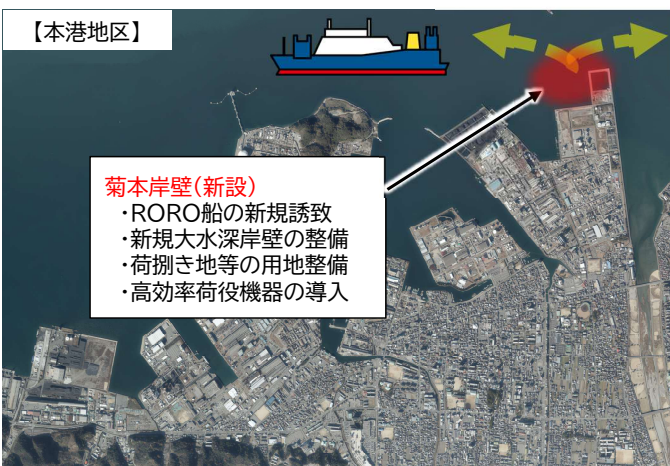


※優先度の高い取組は赤字で記載している。

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

物流・産業 **【戦略Ⅱ】【国内輸送ネットワーク】**
 持続可能な国内物流体系の実現に向けたシームレスネットワークの構築

背景課題	トラックドライバー不足に伴い、モーダルシフトが進展する中で、内貿航路・陸上交通のシームレスな接続により輸送の効率化を図る必要がある。(課題②③)	
戦略概要	住友系企業が取り扱う貨物をはじめ、地元産業等の貨物需要に対応したシームレスな物流網を構築するため、他港との連携を図りながら、定期航路の拡大や臨海地域における貨物運搬道路の整備を目指す。なお、整備にあたっては、荷役機器や自動車等の自動運転など、将来的な技術革新を踏まえた検討を行う。	
具体的な取組内容	③モーダルシフトに対応したRORO船の新規航路開設及びフェリー航路の拡充	RORO船の新規航路誘致や既存で運航しているフェリー船航路の拡充、背後用地の整備等



8. 新居浜港長期構想(案)

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

物流・産業 **【戦略Ⅱ】【国内輸送ネットワーク】**
 持続可能な国内物流体系の実現に向けたシームレスネットワークの構築

背景課題	トラックドライバー不足に伴い、モーダルシフトが進展する中で、内貿航路・陸上交通のシームレスな接続により輸送の効率化を図る必要がある。(課題③)	
戦略概要	住友系企業が取り扱う貨物をはじめ、地元産業等の貨物需要に対応したシームレスな物流網を構築するため、他港との連携を図りながら、定期航路の拡大や臨海地域における貨物運搬道路の整備を目指す。なお、整備にあたっては、荷役機器や自動車等の自動運転など、将来的な技術革新を踏まえた検討を行う。	
具体的な取組内容	④地区間を結ぶ港湾物流道路の整備	貨物の効率的な運搬を目的とした、ふ頭間を結ぶ道路の拡幅や広域からの集貨を行うための物流ネットワークの強化



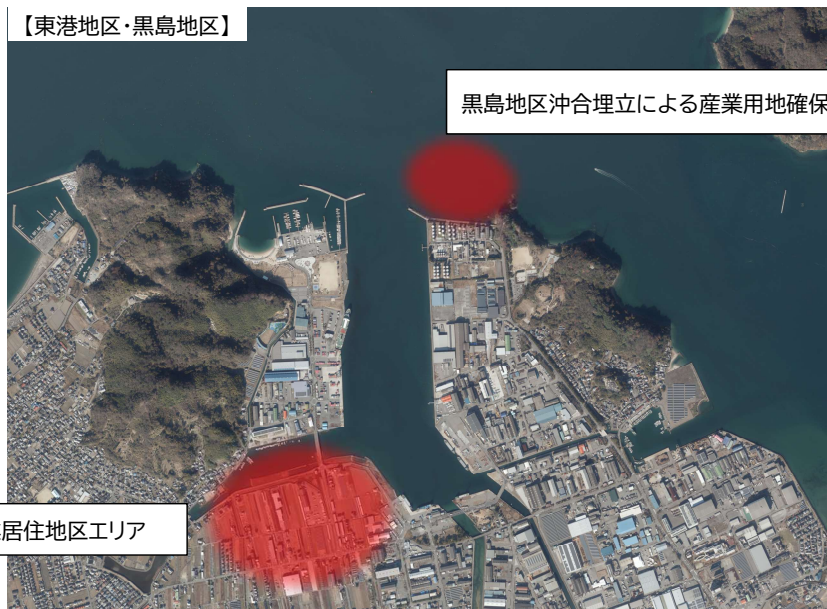
※優先度の高い取組は赤字で記載している。

8. 新居浜港長期構想(案)

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

物流・産業 **【戦略Ⅲ】【産業集積】**
 地域産業の持続的発展に向けた成長産業や物流拠点の集積

背景課題	非鉄金属・化学・機械等の多様な地域産業が集積し、持続的な発展が求められる中で、次世代エネルギーやユニットロード貨物等新たな貨物需要の増加に対応した企業用地や物流拠点の確保が必要である。(課題④⑤)	
戦略概要	住友系の企業が集積していることや新居浜港から松山自動車道にアクセスしやすい等、物流、産業における強みを活かし、新たな企業や倉庫の誘致、工業港としての利便性の向上を図る。	
具体的な取組内容	⑤新たな産業用地の確保・立地促進	企業の拡張や誘致しやすい環境構築に向けた物流・産業用地の確保



(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

物流・産業

【戦略Ⅳ】【DX・生産性向上】

情報通信技術を活用した港湾物流・産業の生産性向上・高効率化

背景課題	生産年齢人口が減少し、新居浜港の港湾労働の担い手が減少していく中で、港湾物流の生産性向上・高効率化が求められる。(課題⑥)	
戦略概要	DX化による港湾荷役の効率化に向けた取組が推進される中で、新居浜港においても最新技術を活用し、港湾労働の生産性向上や効率化を図っていく。	
具体的な取組内容	⑥DXの進展に伴う高効率荷役機器の導入やサイバーポート導入	荷役機械の自動化や遠隔操作等による荷役作業の省力化・効率化、港湾物流情報の電子化等の推進

【本港地区】

菊本岸壁(新設)

・荷役作業の省力化・効率化
・港湾物流情報の電子化等の推進

【東港地区】

垣生第1岸壁

垣生第2～4岸壁

国際物流ターミナル

トラック後続無人隊列走行
自動運転

自動運航船

自動離着岸システム
港湾荷役システムの自動化
スマートゲート

荷主

図 情報通信技術を活用した物流ネットワーク形成のイメージ

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

物流・産業

【戦略Ⅴ】【人材・労働環境】

次世代への技術継承・育成及び魅力ある労働環境の整備

背景課題	港湾労働者の人手不足の対応や高齢化が喫緊の課題であり、次世代の担い手確保が必要である。(課題⑦)	
戦略概要	仕事の魅力を発信し港湾に対する地域住民の理解・意識醸成を図る。港湾労働者においては、働き甲斐を感じ、働きやすい港づくりに取り組む。	
具体的な取組内容	⑦市民が港湾事業に触れる機会の拡大	学生や地域住民を対象とした港湾の現場見学会の実施や就職説明会等でのブース出展等による積極的な情報発信
	⑧港湾労働者や船員が働きやすい環境整備	業務を効率化するDXの推進や労働者の休憩スペースの確保、港湾作業に必要な作業船の確保、OJTを含めた育成制度等の整備

⑦市民が港湾事業に触れる機会の拡大

⑧港湾労働者や船員が働きやすい環境整備



出典：港湾労働者不足対策等
アクションプラン2025
～未来の港湾物流の維持・発展のために～
左図 親子での見学会



出典：港湾労働者不足対策等アクションプラン2025
～未来の港湾物流の維持・発展のために～



図 働きやすい環境形成イメージ



出典：国土交通省HP
左図 現場体験会

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

環境・エネルギー 「将来像②脱炭素に貢献し次世代へつなぐ新居浜港」に対する戦略・取組内容

戦略(案)		具体的な取組内容(案)
VI	次世代エネルギー等の受入供給拠点形成による脱炭素化の実現及び地域産業の活性化 	⑨ 脱炭素化の推進に向けた港湾機能高度化 ⑩ 次世代エネルギー・再生可能エネルギーの受入・供給環境整備 ⑪ 立地事業所の競争力強化に向けた事業活動の脱炭素化に資する環境整備 ⑫ リサイクル関連・カーボンリサイクルの推進に向けた産業立地の推進
VII	港湾利用と共生する瀬戸内海沿岸域の環境の保全 	⑬ 港湾物流と漁業の共存 ⑭ ブルーカーボンの活用による海域環境の保全推進

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

環境・エネルギー 【戦略VI】【エネルギー】次世代エネルギー等の受入供給拠点形成による脱炭素化の実現及び地域産業の活性化

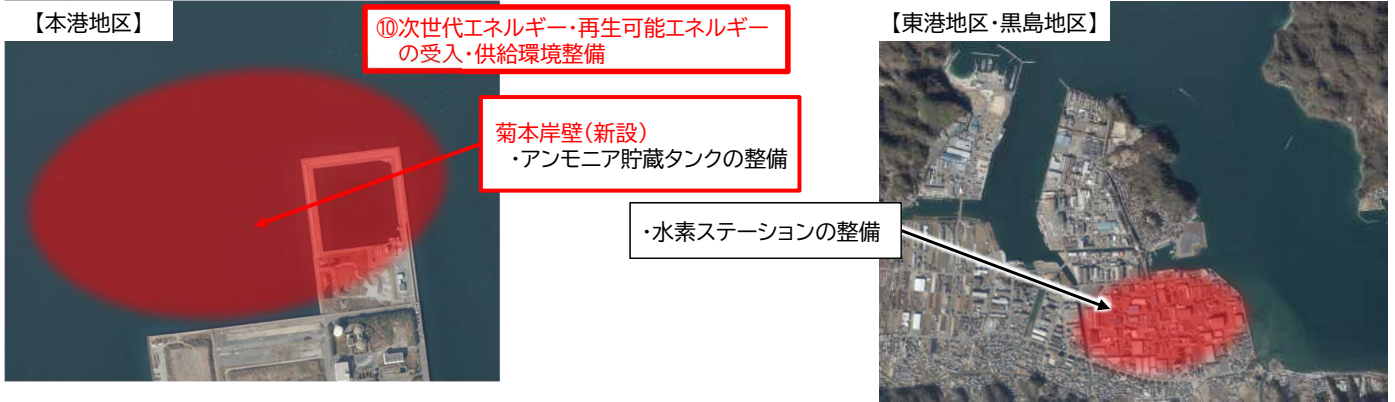
背景課題	カーボンニュートラルの実現に向けて、工業港としての側面が強くCO2排出量が多い新居浜港は、次世代エネルギーの受入環境の構築や積極的な脱炭素化、資源循環に向けた取組が求められる。(課題③)	
戦略概要	新居浜港は西日本の中でもいち早く港湾脱炭素化推進計画を策定している。港湾脱炭素化推進計画の目標や取組の実現に向けて、段階的に脱炭素化に向けた取組を実施し、将来的には四国・西日本における次世代エネルギーの拠点化を目指す。	
具体的な取組内容	⑨脱炭素化の推進に向けた港湾機能高度化	ターミナル内の荷役機械の水素化及び電動化、港湾機能のデジタル化の導入を通じた港湾荷役の脱炭素化、定期航路を中心とした停泊中船舶への陸上電力供給設備の導入、船舶の低炭素化・脱炭素化
	⑩次世代エネルギー・再生可能エネルギーの受入・供給環境整備	既存のアンモニア受入バース・貯蔵インフラ等の活用も図りながら、新たな次世代エネルギーの受入供給拠点整備、港内への水素ステーションの整備、発電所用バイオマス燃料の調達・利用拡大
	⑪立地事業所の競争力強化に向けた事業活動の脱炭素化に資する環境整備	臨港地区に立地する発電所・工場等へのLNGや次世代エネルギーへの燃料転換、再生可能エネルギーの導入・利用拡大、省エネルギーの取組
	⑫リサイクル関連・カーボンリサイクルの推進に向けた産業立地の推進	カーボンリサイクルやケミカルリサイクルの実証事業等の積極的な誘致・導入拡大、官民連携による低環境負荷に貢献する事業の拡大推進や脱炭素に貢献する市内の関連企業との連携

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

環境・エネルギー

【戦略VI】【エネルギー】

次世代エネルギー等の受入供給拠点形成による脱炭素化の実現及び地域産業の活性化



■各岸壁や地区で推進

- ⑨脱炭素化の推進に向けた港湾機能高度化
 - ・ターミナル内の荷役機械の水素化及び電動化
 - ・港湾機能のデジタル化の導入を通じた港湾荷役の脱炭素化
- ⑪立地事業所の競争力強化に向けた事業活動の脱炭素化に資する環境整備
 - ・発電所・工場等へのLNGや次世代エネルギーへの燃料転換
 - ・再生可能エネルギーの導入・利用拡大

- ⑫リサイクル関連・カーボンリサイクルの推進に向けた産業立地の推進
 - ・カーボンリサイクルに関連する事業の推進
 - ・脱炭素エネルギー関連企業の誘致

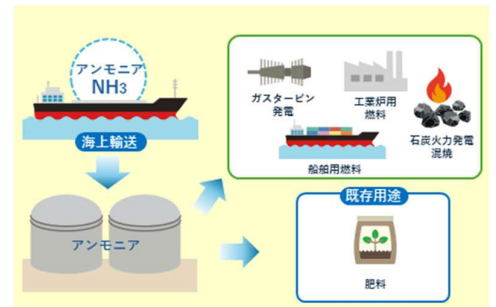


図 アンモニアの活用イメージ 36

※優先度の高い取組は赤字で記載している。

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

環境・エネルギー

【戦略VI】【エネルギー】

次世代エネルギー等の受入供給拠点形成による脱炭素化の実現及び地域産業の活性化



※ 新居浜港等におけるCNP形成のイメージ図は、将来需要や今後の事業性検討等の実施状況を踏まえ、適宜見直しを図るものとする

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

環境・エネルギー

【戦略Ⅶ】【環境】

港湾利用と共生する瀬戸内海沿岸域の環境の保全

背景課題	新居浜港が位置する瀬戸内海は生物多様性に富む豊かな海域であり、漁業が営まれている。これら自然環境を保全しながら、港湾利用していくことが求められている。(課題⑨)	
戦略概要	自然環境を維持、保護し、環境に配慮した整備や制度設計を行う。	
具体的な取組内容	⑬港湾物流と漁業の共存	港湾物流の実施や整備時には漁業へ配慮した整備
	⑭ブルーカーボンの活用による海域環境の保全推進	護岸、防波堤における生物共生護岸や藻場の整備、海浜の生態系の保全・活用

ブルーカーボン・グリーンカーボンの概念図

グリーンカーボン
森林などの陸域生態系に吸収・貯留されるCO₂

ブルーカーボン
海藻などの海洋生態系が吸収し、海中・海底の泥や砂やその他の土壌に吸収・貯留されるCO₂

ブルーカーボン生態系

生物共生護岸の整備イメージ

基石等

出典: 国土交通省 HP

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

観光・交流

「将来像③瀬戸内の自然・産業・歴史をつなぎ、人々が集い、交流する新居浜港」に対する戦略・取組内容

戦略(案)		具体的な取組内容(案)
VIII	あかがねの歴史・文化をつなぎ、賑わい・安らぎを生む瀬戸内ウォーターフロント空間の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 既存施設を活用した質の高い賑わい空間の形成 ⑯ 官民連携による収益施設の誘致及び周辺環境の整備 ⑰ マリンレジャーの振興 ⑱ 大型プレジャーボートの受入環境の拡大・機能拡充 ⑲ フェリー・クルーズ船の受入環境の充実
IX	国内外との交流ネットワークを形成し、新居浜の魅力を発信するゲートウェイの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ⑳ 観光交流拠点へのアクセスの更なる向上 ㉑ 観光マップや周遊モデルコースの作成・情報発信

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

観光・交流

【戦略Ⅷ】【レクリエーション・緑・景観】

あかがねの歴史・文化をつなぎ、賑わい・安らぎを生む瀬戸内ウォーターフロント空間の形成

背景課題	住友系企業とともに発展してきた新居浜港、新居浜市には別子銅山をはじめとした産業遺産群や自然観光資源がある。地元住民を中心に様々な観光や賑わいに関する需要がある中で、既存の資源を活用すると共に様々なニーズに応えていくことが求められる。(課題⑩⑪)	
戦略概要	豊かな自然や別子銅山をはじめとした近代化産業遺産群等を活かし、人々が新居浜港に訪れ、様々な交流や賑わいを創出する。	
具体的な取組内容	⑮既存施設を活用した質の高い賑わい空間の形成	みなとオアシスマリンパーク新居浜等をはじめとした既存施設を活用、改修し、憩いの場となるような空間を形成
	⑯官民連携による収益施設の誘致及び周辺環境の整備	みなと緑地PPP等の制度の活用等により官民が連携した収益施設の誘致及び周辺環境の整備
	⑰マリレジャーの振興	みなとオアシスマリンパーク新居浜と連携し、釣りやウォータースポーツ等の水辺、海辺で楽しむレジャー活動の推進
	⑱大型プレジャーボートの受入環境の拡大・機能拡充	観光需要の高まりに基づいた大型プレジャーボート等を受け入れることができるマリーナ施設の機能拡充
	⑲フェリー・クルーズ船の受入環境の充実	東港地区においてフェリー・クルーズ船を受け入れるための施設整備や機能再配置の検討

※優先度の高い取組は赤字で記載している。

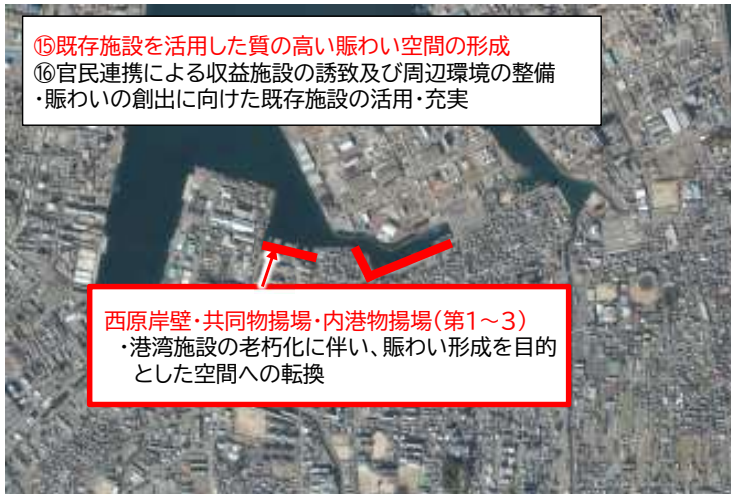
(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

観光・交流

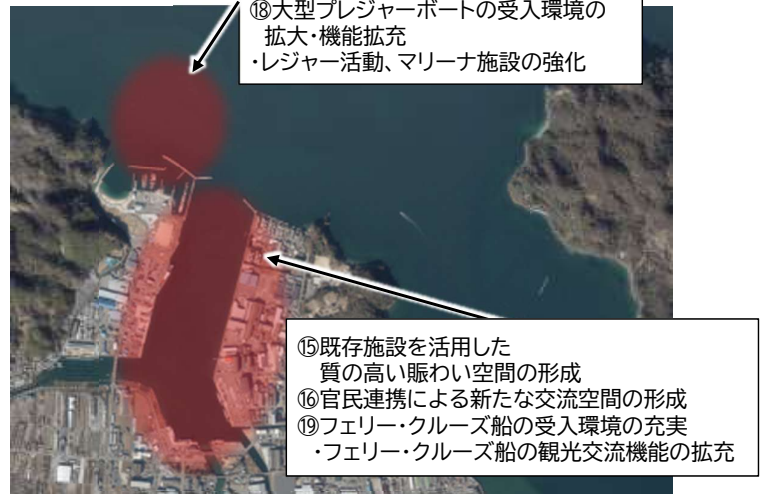
【戦略Ⅷ】【レクリエーション・緑・景観】

あかがねの歴史・文化をつなぎ、賑わい・安らぎを生む瀬戸内ウォーターフロント空間の形成

【内港地区】



【東港地区】



ボードウォークの整備イメージ



賑わい形成のイメージ



大型プレジャーボートの係留イメージ



①岸壁での受入



②テンドーボートでの受入



図 賑わい形成に向けた整備イメージ

図 フェリー・クルーズ船の受入イメージ

※優先度の高い取組は赤字で記載している。

8. 新居浜港長期構想(案)

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

観光・交流

【戦略IX】【サービス・情報発信】

国内外との交流ネットワークを形成し、新居浜の魅力発信するゲートウェイの形成

背景課題	訪日旅行者や国内シニア層の観光需要が高まっている中で、新居浜港の認知度の低さや港へのアクセス性の改善が求められる。(課題⑫)	
戦略概要	新居浜並びに四国の海の玄関口となるような機能整備、ネットワークを形成するとともに、情報発信の強化を行う。	
具体的な取組内容	⑩観光交流拠点へのアクセスの更なる向上	新居浜港から新居浜市の中心部へのアクセス性の向上やレンタサイクル等の移動手段に関する情報発信
	⑪観光マップや周遊モデルコースの作成・情報発信	別子銅山等の近代化産業遺産群等の観光拠点と連携したインバウンドを意識した新居浜市の観光モデルの形成や、観光に関する積極的な情報発信の実施



図 現在の英語版新居浜市観光マップ

8. 新居浜港長期構想(案)

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

防災・維持管理 「将来像④強く、しなやかで、暮らし・産業を支える強靱な新居浜港」に対する戦略・取組内容

戦略(案)		具体的な取組内容(案)
X	災害時でも安全・安定的な機能を保持し、産業や生活を守る港湾の強靱化 	⑫ 気候変動や自然災害を考慮した港湾施設の整備 ⑬ 廃棄物処理空間の確保 ⑭ 新居浜港BCPの徹底 ⑮ 自治体・企業等との連携による関係者が一体となった防災対策
XI	港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進 	⑯ 戦略的な港湾施設の補修、更新、再編

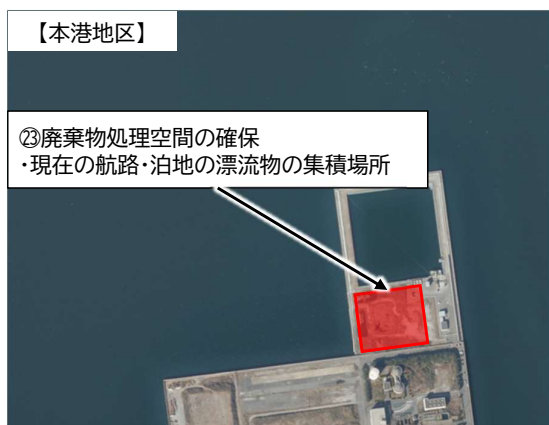
(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

防災・維持管理 【戦略X】【国土強靱化】
 災害時でも安全・安定的な機能を保持し、産業や生活を守る港湾の強靱化

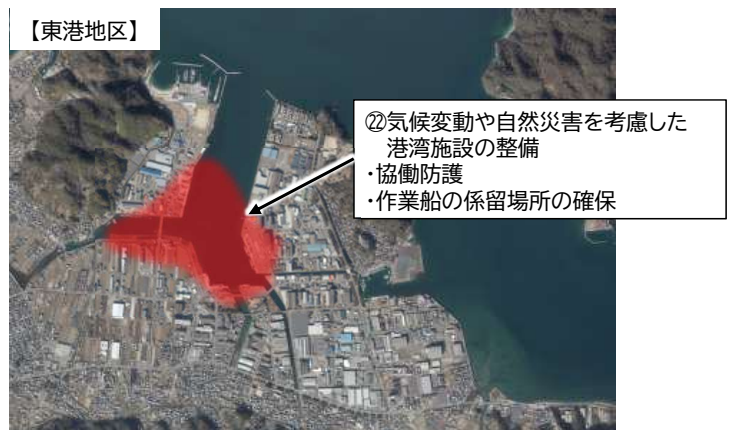
背景課題	南海トラフ地震や高潮、地球温暖化に伴う様々な変化等の自然災害のリスクが高まりつつある中で、新居浜港で活動する人々や背後圏の市民の安全確保に向けた様々な主体との連携が求められる。(課題③)	
戦略概要	港務局や周辺事業者等、様々な関係者が連携し、新居浜港を利用する人々や地域住民に安心感を与える港を形成する。	
具体的な取組内容	②気候変動や自然災害を考慮した港湾施設の整備	防波堤、防潮堤の更新、高床化等、高潮・高波を想定した協働防護による気候変動への適応対策を実施。また、災害発生時を想定した広域的な作業船の確保体制の構築や係留場所の確保を図る。
	③廃棄物処理空間の確保	被災時に発生した廃棄物を処理するための空間確保
	④新居浜BCPの徹底	定期的な事業者との意見交換や委員会実施による、非常時の事業継続、復旧に向けた役割、対応方針の確認を行う。
	⑤自治体・企業等との連携による関係者が一体となった防災対策	被災時を想定した合同防災訓練の実施や情報発信の共有、地域ワークショップ等による地域住民を巻き込んだ防災に対する意識向上

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

防災・維持管理 【戦略X】【国土強靱化】
 災害時でも安全・安定的な機能を保持し、産業や生活を守る港湾の強靱化



資料：新居浜港事業継続計画(新居浜港港湾BCP)



出典：国土交通省HP

図 協働防護に係る対策例(イメージ)



出典：新居浜市HP

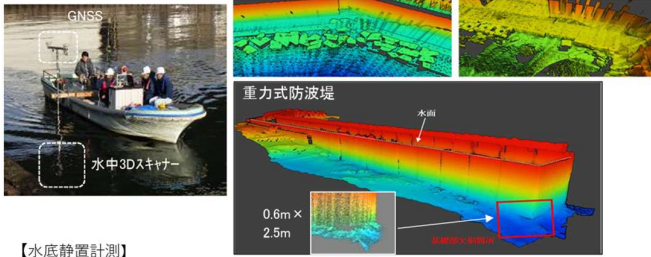
図 防災訓練の様子

(4) 将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

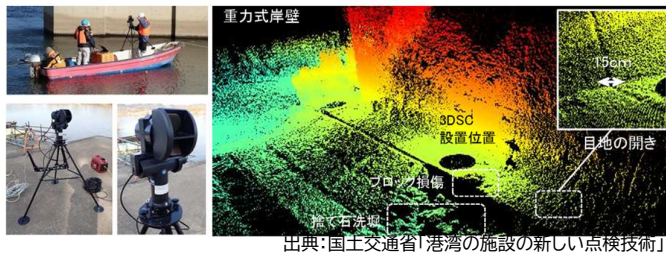
防災・維持管理 【戦略XI】【老朽化対策・維持管理】
港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進

背景課題	新居浜港の港湾施設の多くが老朽化し維持管理費の増大が想定される中で、維持管理予算は限られており、予防保全も含めて港湾施設の戦略的・効率的な維持管理が必要がある。(課題⑭)	
戦略概要	老朽化が進化する港湾施設等の戦略的な施設の維持管理・更新により、持続的な港湾の機能維持、長期的なコスト削減、そして安全確保を図る。なお、港湾施設の運営や維持管理においては、電子化やAI活用によって省力化を目指す。	
具体的な取組内容	⑯戦略的な港湾施設の補修、更新、再編	老朽化した港湾施設等を適切な維持管理と戦略的な施設の補修、更新、再編・集約、廃止、利用転換により新岸壁に移行し、現存する岸壁は見直しを行う。また、港湾施設の維持管理においては、電子化やAI活用によって省力化を目指す。

【船舶機装計測】



【水底静置計測】



出典:国土交通省「港湾の施設の新しい点検技術」



出典:北九州市HP



図 デジタル技術を活用した港湾施設の維持管理

図 機能転換による賑わい形成

(5) 空間利用計画(ゾーニング)

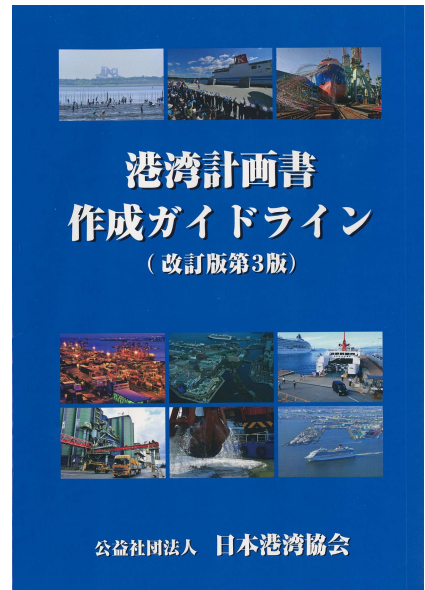
① 空間利用計画(ゾーニング)について

- 港湾計画の改訂の際には、「港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全の方針に関して、ゾーニング(港湾空間の利用の方針)は、港湾全体の機能が容易に把握できるよう、原則として以下のゾーンから数ゾーンを選択して行う」こととなっている。

2-4 港湾空間のゾーニング

港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全の方針に関して、ゾーニング(港湾空間の利用の方針)は、港湾全体の機能が容易に把握できるよう、原則として以下のゾーンから数ゾーンを選択して行うものとする。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・物流関連ゾーン ・人流関連ゾーン ・交流拠点ゾーン ・生産ゾーン ・危険物ゾーン ・エネルギー関連ゾーン ・緑地レクリエーションゾーン(水域を含む) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全ゾーン ・港湾業務関連ゾーン ・都市機能ゾーン ・船だまり関連ゾーン ・廃棄物処理ゾーン ・停泊ゾーン ・避泊ゾーン ・留保ゾーン |
|---|---|



出典:公益社団法人日本港湾協会「港湾計画書作成ガイドライン(改訂版第3版)」

(5)空間利用計画(ゾーニング)

② 全体ゾーニング(既存計画)

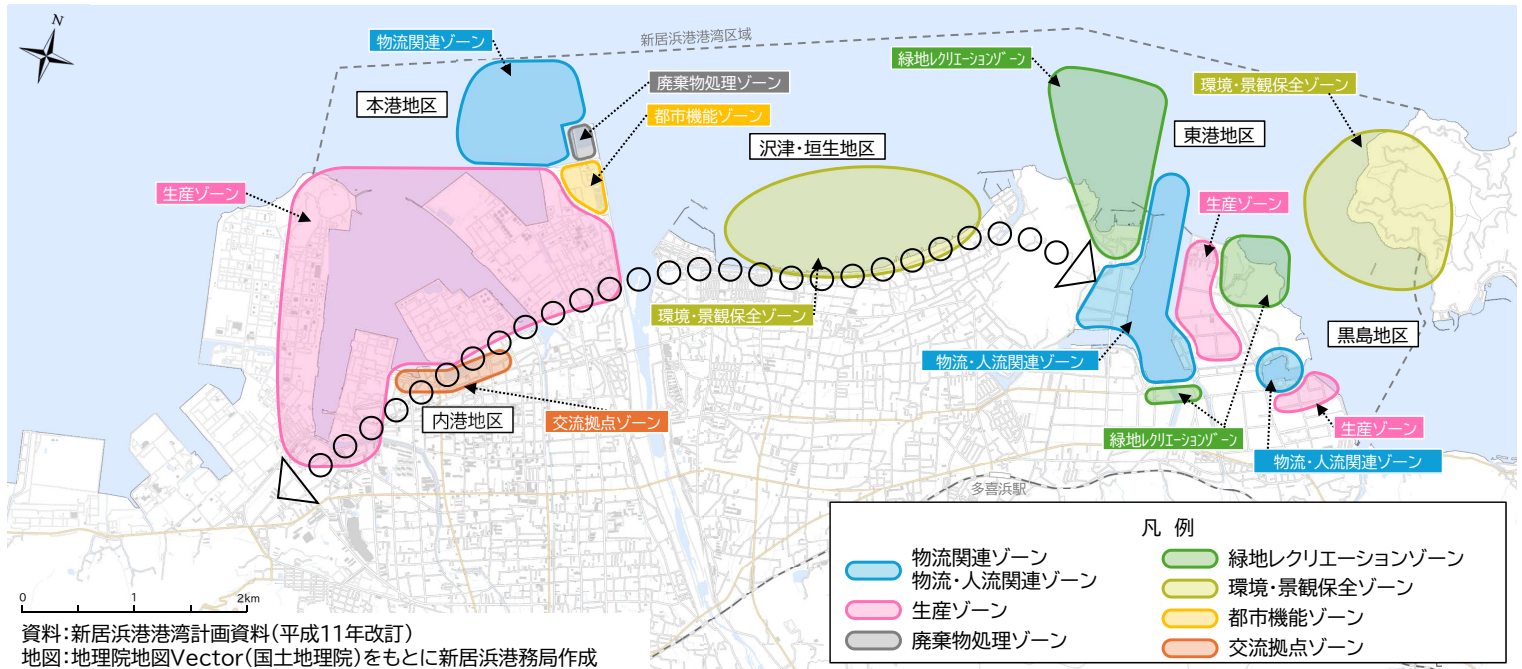
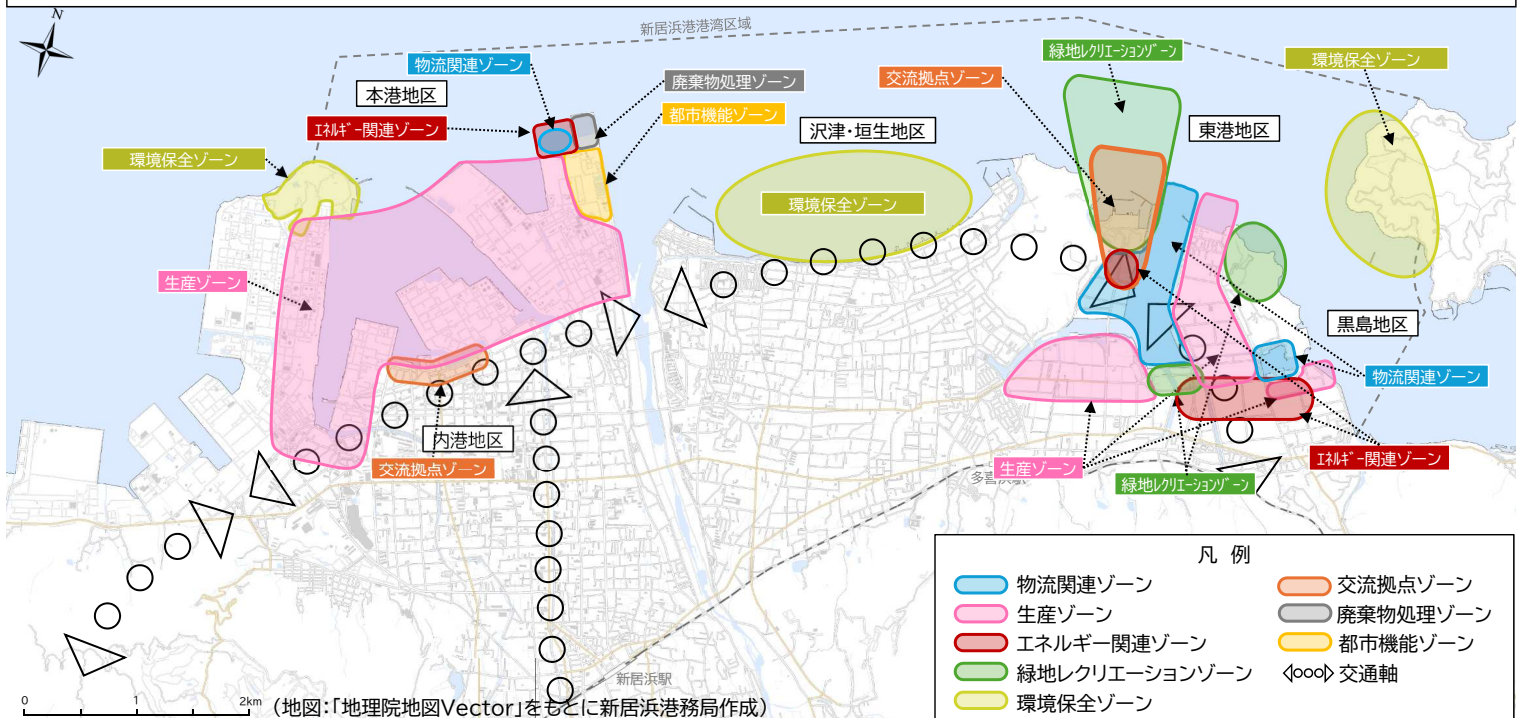


図 新居浜港のゾーニング(現況)

(5)空間利用計画(ゾーニング)

② 全体ゾーニング(本計画)

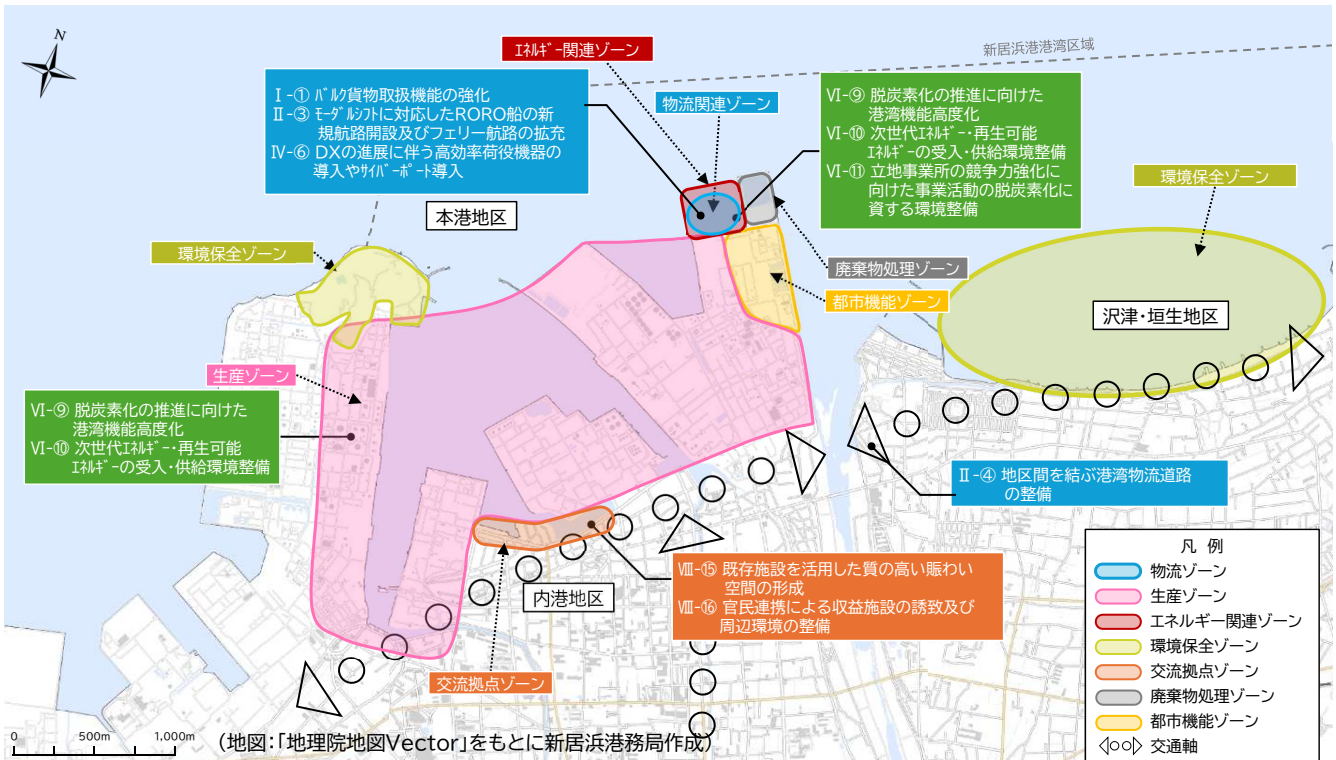
- 既定港湾計画(平成11年改訂)の考え方を踏襲しつつ、これまでの施策内容や本長期構想で設定した将来像を踏まえ、新居浜港における空間利用計画(ゾーニング)を設定する。
- 各地区内の港湾施設の老朽化においては各取組状況を踏まえ、更新や機能集約等について検討、対応を図る。



(5)空間利用計画(ゾーニング)

③ 地区別のゾーニングと取組展開(本港地区、内港地区)

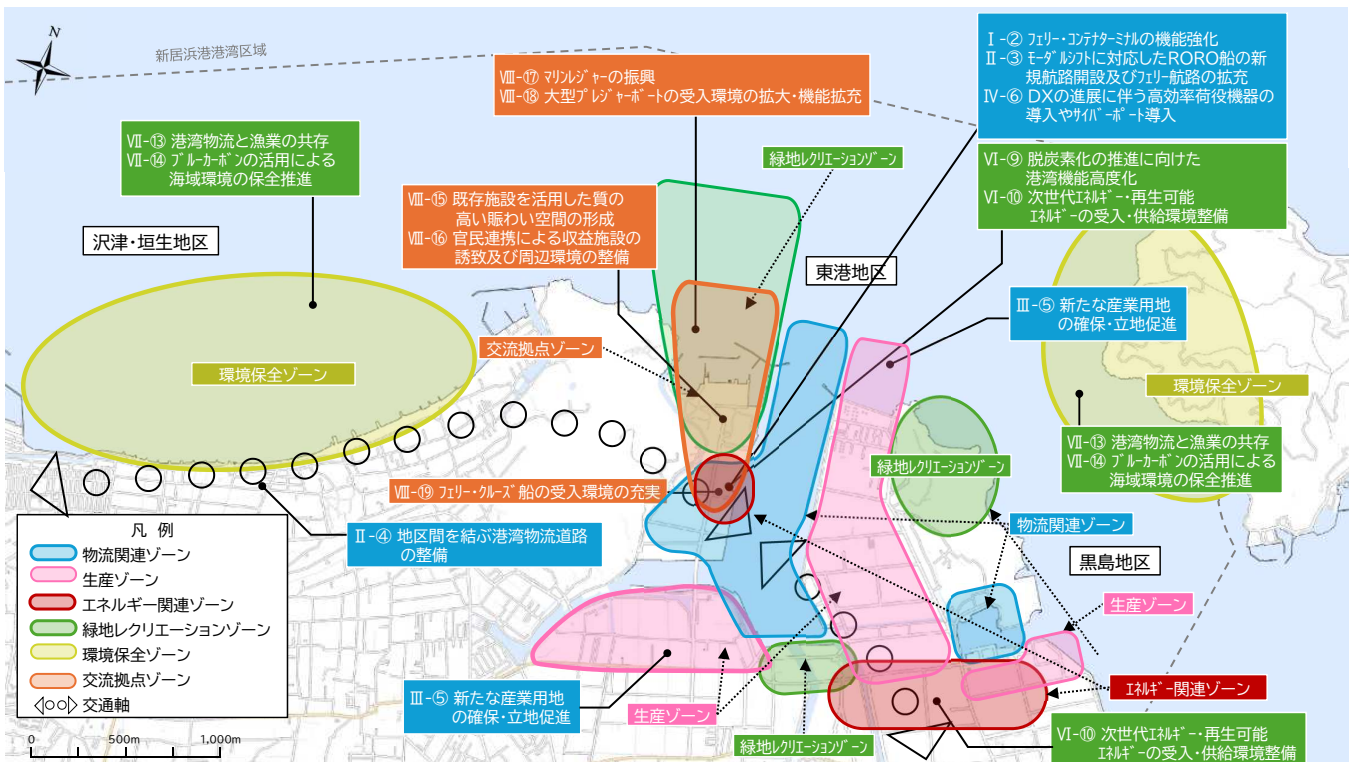
- 本港地区、内港地区では主に物流・産業に関する取組を進めるほか、脱炭素の実現に向けた次世代エネルギー等の受入供給拠点形成に関する取組を進める。



(5)空間利用計画(ゾーニング)

③ 地区別のゾーニングと取組展開(東港地区、黒島地区、沢津・垣生地区)

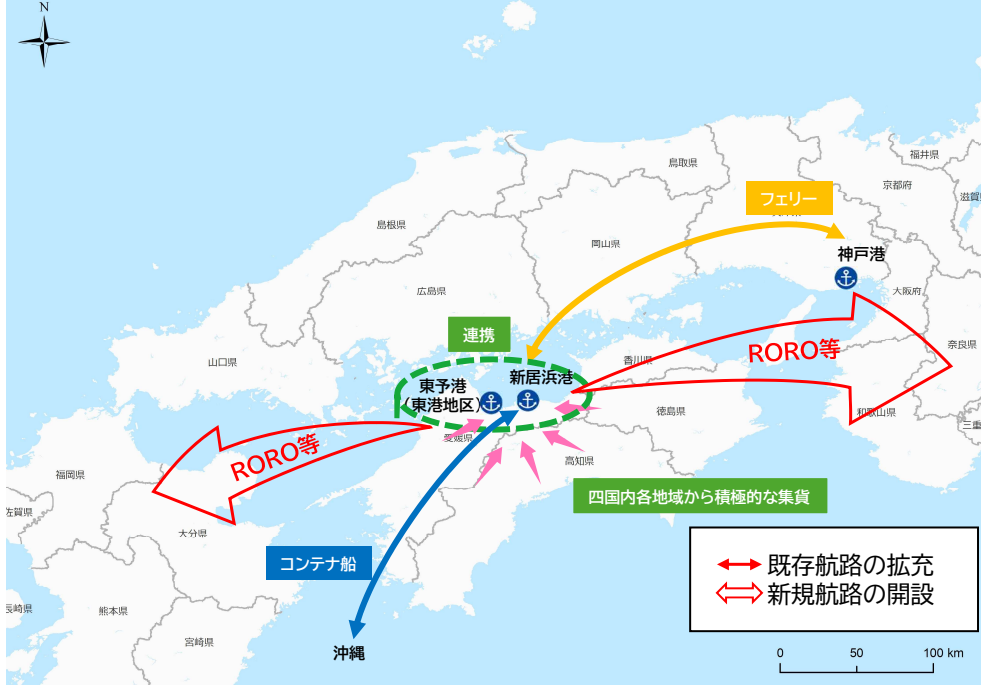
- 東港地区、黒島地区では主に物流・産業に関する取組を進めるほか、東港地区では観光・交流に関する取組を進める。
- 沢津・垣生地区では環境保全に向けた取組を進める。



(6)ロードマップ

① 長期構想の推進にあたって

- 長期構想の推進にあたっては、新居浜港に近接している東予港(東港地区)と連携を図りながら、進めていく。
- 新居浜港は松山や高松、高知等、四国内の様々な主要都市から等距離にあることから、バルク貨物等における積極的な集貨を図っていく。
- 現在、フェリー定期便が運航している神戸港をはじめとした四国外の港湾と連携し、内航輸送の更なる拡充を図っていく。



【広域的な連携と内航輸送のイメージ】

(6)ロードマップ

② 各施策の取組みスケジュール

物流・産業 「将来像①臨海工業・地域経済の持続的発展と国内外のシームレスな物流を支援する新居浜港」

戦略	具体的な取組内容	短・中期(10~20年)	長期(30年)	実施主体
I	① バルク貨物取扱機能の強化【各地区】	整備	供用・更新	新居浜港務局(実施) 国・愛媛県・新居浜市・各事業者等(支援・連携)
	② フェリー・コンテナターミナルの機能強化【東港地区】	協議	運用・適宜見直し	
II	③ モーダルシフトに対応したRORO船の新規航路開設及びフェリー航路の拡充【本港地区】【東港地区】	整備	運用・適宜見直し	新居浜港務局・新居浜市・他事業者等(実施) 国・愛媛県(支援・連携)
	④ 地区間を結ぶ港湾物流道路の整備【各地区間】	将来ネットワークの検討	整備	
III	⑤ 新たな産業用地の確保・立地促進【東港地区】	協議	整備	新居浜港務局・各事業者等(実施) 愛媛県・新居浜市(支援・連携)
IV	⑥ DXの進展に伴う高効率荷役機器の導入やサイバースポーツ導入【本港地区】【東港地区】		導入・運用	新居浜港務局・各事業者等(実施) 国・愛媛県・新居浜市(支援・連携)
V	⑦ 市民が港湾事業に触れる機会の拡大【各地区】		実施	新居浜港務局・各事業者等(実施) 国・愛媛県・新居浜市(支援・連携)
	⑧ 港湾労働者や船員が働きやすい環境整備【各地区】	協議	供用・更新	

※優先度の高い取組は赤字で記載している。

(6)ロードマップ

② 各施策の取組みスケジュール

環境・エネルギー 「将来像②脱炭素に貢献し次世代へつなぐ新居浜港」

戦略	具体的な取組内容	短・中期(10～20年)	長期(30年)	実施主体
VI	⑨ 脱炭素化の推進に向けた港湾機能高度化【本港地区】【東港地区】	導入・供用		新居浜港務局・各事業者等(実施) 国・愛媛県・新居浜市 (支援・連携)
	⑩ 次世代エネルギー・再生可能エネルギーの受入・供給環境整備【本港地区】【東港地区】	整備	供用	
	⑪ 立地事業所の競争力強化に向けた事業活動の脱炭素化に資する環境整備【本港地区】【東予港 東港地区と連携】	整備	供用	
	⑫ リサイクル関連・カーボンリサイクルの推進に向けた産業立地の推進【各地区】	整備	誘致	
VII	⑬ 港湾物流と漁業の共存【沢津・垣生地区】【黒島地区】	適宜実施		新居浜港務局、関係漁協(実施) 国・愛媛県・新居浜市 (支援・連携)
	⑭ ブルーカーボンの活用による海域環境の保全推進【沢津・垣生地区】【黒島地区】	適宜実施		

※優先度の高い取組は赤字で記載している。

54

(6)ロードマップ

② 各施策の取組みスケジュール

観光・交流 「将来像③瀬戸内の自然・産業・歴史をつなぎ、人々が集い、交流する新居浜港」

戦略	具体的な取組内容	短・中期(10～20年)	長期(30年)	実施主体
VIII	⑮ 既存施設を活用した質の高い賑わい空間の形成【内港地区】【東港地区】	既存施設の運用・更新		新居浜港務局・新居浜市(実施) 国・愛媛県(支援・連携)
	⑯ 官民連携による収益施設の誘致及び周辺環境の整備【内港地区】【東港地区】	協議	整備・運用	
	⑰ マリンレジャーの振興【東港地区】	情報発信・運用		
	⑱ 大型プレジャーボートの受入環境の拡大・機能拡充【東港地区】	協議	整備・運用	
	⑲ フェリー・クルーズ船の受入環境の充実【東港地区】	協議	整備・運用	
IX	⑳ 観光交流拠点へのアクセスの更なる向上【東港地区】【新居浜市内】	協議	整備・運用	新居浜港務局・新居浜市(実施) 国・愛媛県(支援・連携)
	㉑ 観光マップや周遊モデルコースの作成・情報発信【東港地区】【新居浜市内】	情報発信・運用		

※優先度の高い取組は赤字で記載している。

55

(6)ロードマップ

② 各施策の取組みスケジュール

防災・維持管理 「将来像④強く、しなやかで、暮らし・産業を支える強靱な新居浜港」

戦略	具体的な取組内容	短・中期(10～20年)	長期(30年)	実施主体
X	⑳ 気候変動や自然災害を考慮した港湾施設の整備 【東港地区】【他地区】	実施・適宜更新		新居浜港務局(実施) 国・愛媛県・新居浜市・各事業者等(支援・連携)
	㉑ 廃棄物処理空間の確保 【本港地区】【他地区】	検討	整備・運用	
	㉒ 新居浜BCPの徹底 【各地区】	実施・適宜更新		
	㉓ 自治体・企業等との連携による関係者が一体となった防災対策 【各地区】	実施・適宜更新		
XI	㉔ 戦略的な施設の補修、更新、再編 【各地区】	維持管理・更新		新居浜港務局(実施) 国・愛媛県・新居浜市 (支援・連携)

※優先度の高い取組は赤字で記載している。